

特 59 16

東亞圖書公司  
發行

東亞



東亞圖書公司



富謙一郎編輯

改正

日書

國京圖

召所鑒

安正堂藏

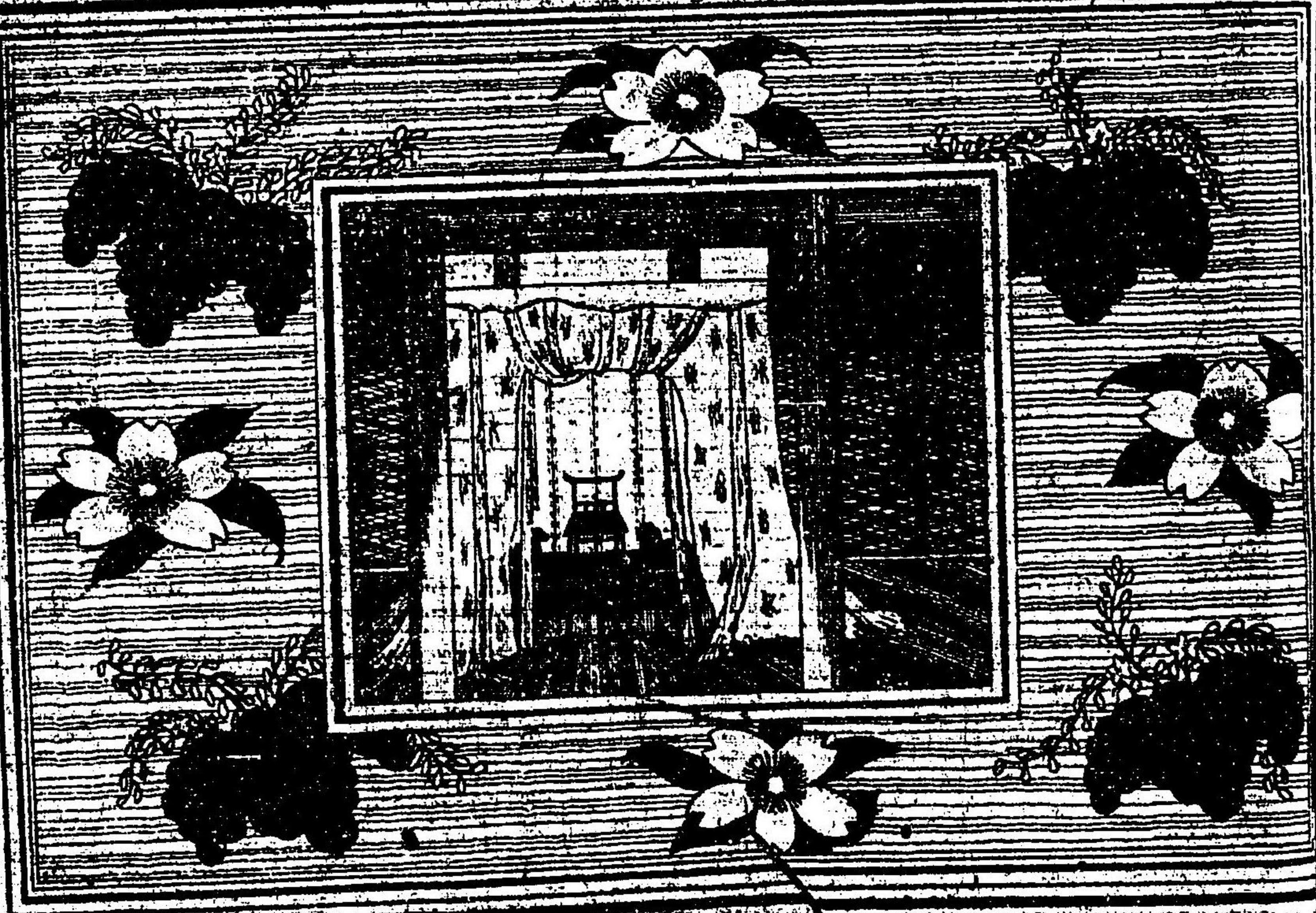




凡例

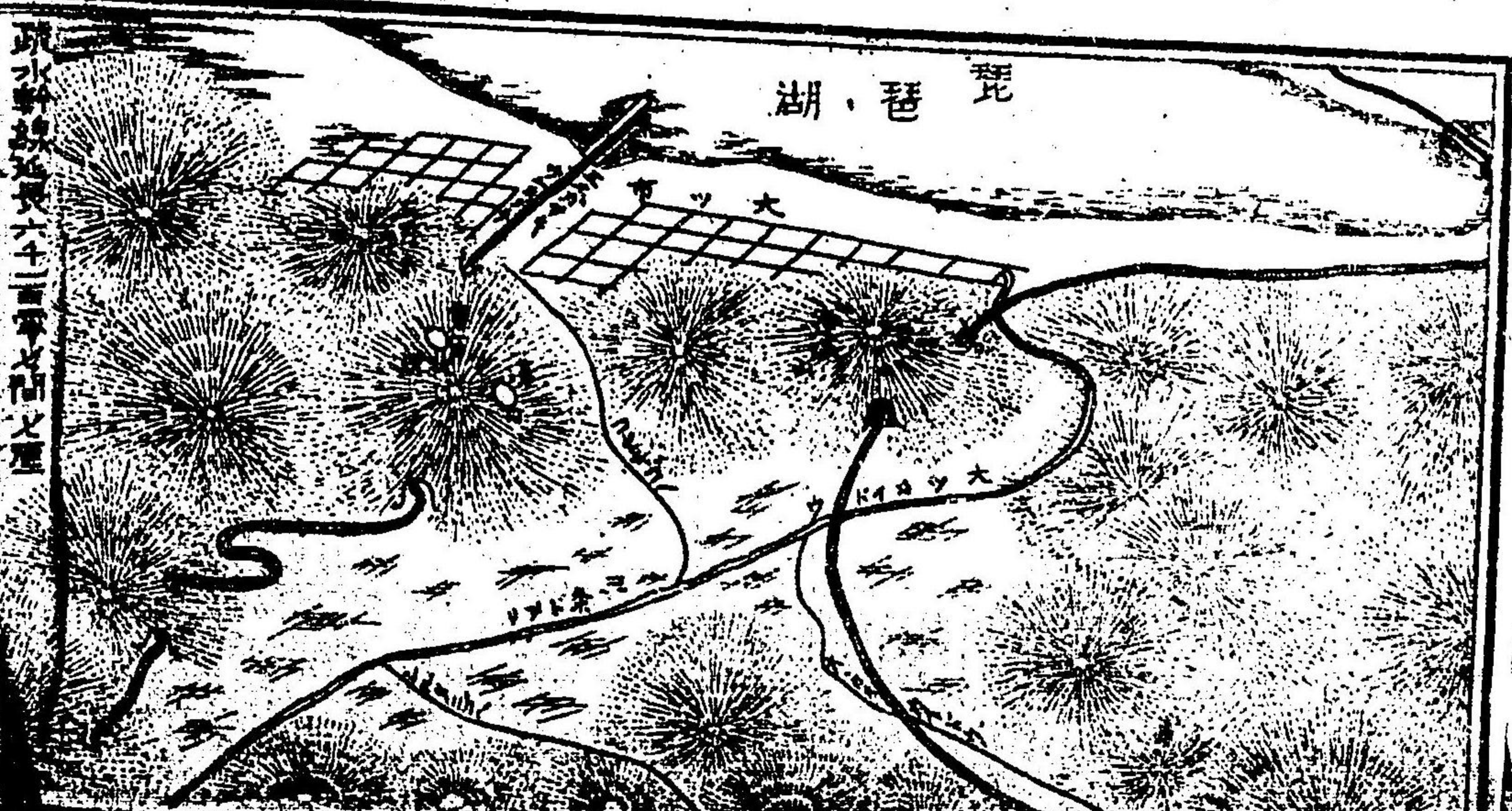
一 此編は、その時代の  
一 宗教、法律、政治の  
一 史、地理、言語、文藝の  
一 研究、神祇、社、寺、境  
一 佛、園の住、系、山川  
一 の、史、観、を、回、覧、し、現  
一 今、の、史、の、系、と、接、点、を、守  
一 実、に、旅、客、の、き、き、の、北、東  
一 乃、古、を、新、の、意、を、得、ま  
一 ず、し、て、い、ち、の、い、ち、の、

編者識





琵琶湖



疏水幹線長六十二間五分  
近江國滋賀郡三保町湖岸ヨリ  
京都賀茂川ニ至ル

京都築地 甲ノ長十百三間中三三間  
乙ノ長九十九間中三三間

運河 長三番間四分四厘  
湖岸ヨリ第一隊道ニ達ス

開門 運河ノ河中ナリ

架橋三 三保崎、此國橋、鹿間橋ナリ

第一隊道 長サ千三百四十間  
大津三井寺山下ヨリ滋賀郡鹿間村ニ至

井伏坑 第三隊道ヨリ九百三十三間六分四厘  
深サ百五十八尺ナリ

運河 第一隊道ヨリ六百六十五間深サ本久寺  
長七千二百七十三間一分四厘

舟溜 第三隊道ヨリ滋賀郡三保町ニ至リ  
安祥寺、毘沙門堂、千福寺、明應寺、

架橋六個 封山、藤ノ尾、各々ニアリ

水路橋 宇治郡安朱川ニ架ス

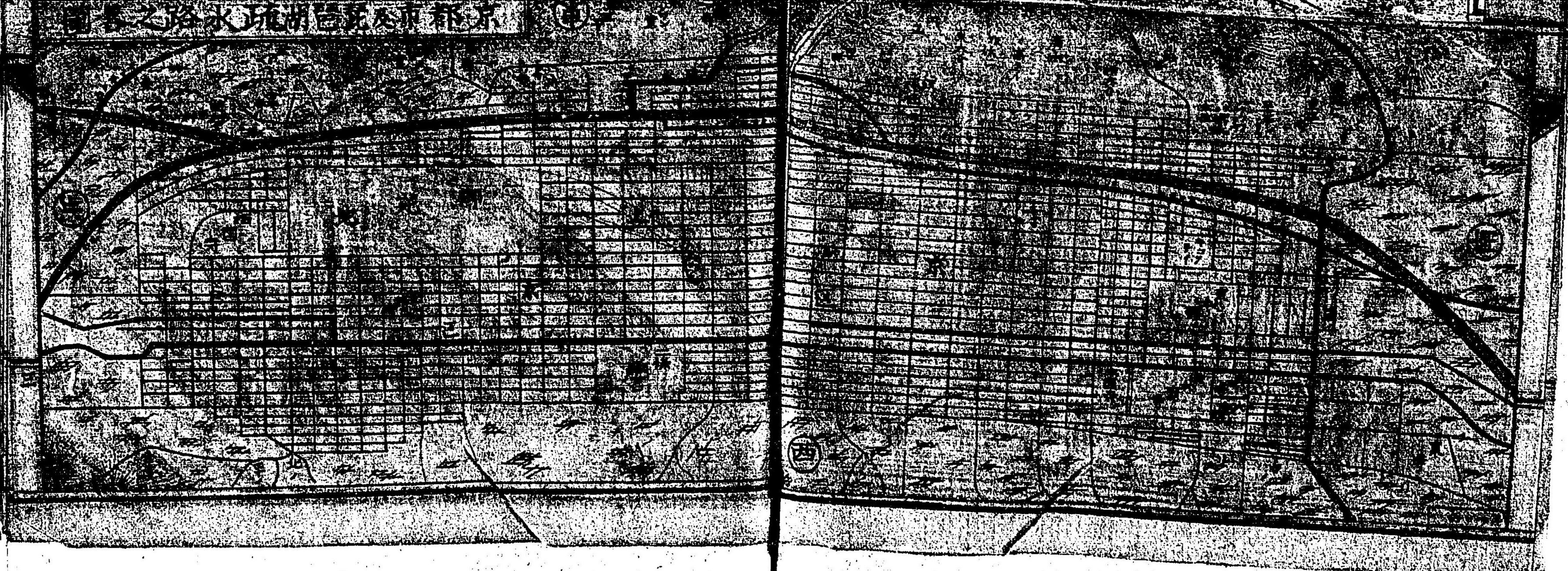
第二隊道 長サ六十八間五分  
宇治郡安朱村ニアリ

運河 第二第三隊道ノ間長百五十四間五分

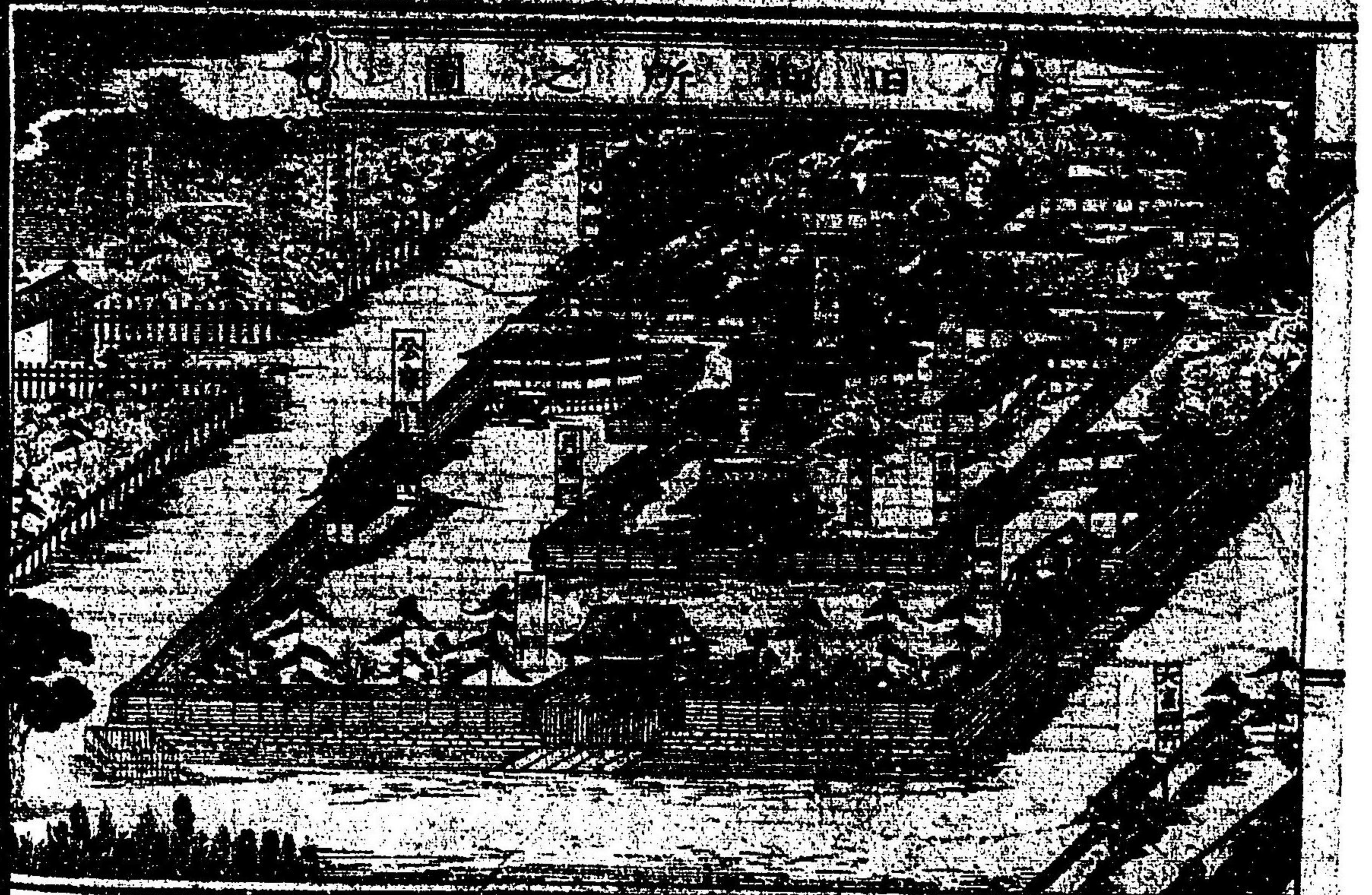
舟橋 御陵村ニアリ

第三隊道 長サ四百六十七間  
宇治郡日岡山下ニアリ

京都東大琵琶湖疏水之路







三條大橋ヨリ諸方へ九里程

市中之部

天 使 天 神	本 國 寺	壬 生	島 原	六 孫	東 王	大 教	與 正	本 願	ス テ ー シ ヨ ン	東 本 願	因 幡 業	仏 光 影	神 宮 教	大 聖 院	八 地 御	深 殿 地	金 蓮	錦 天	蛸 葉	誠 心	誓 願	電 信	郵 便	六 角	
十八	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一
丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁
電 燈	木 誓	矢 田	天 正	本 能	天 主	常 盤	妙 滿	草 堂	下 御	師 範	梨 木	醫 學	疾 病	上 御	同 志	相 國	中 學	京 都	育 唯	二 條	神 泉	空 也	菅 大		
二	五	二	三	五	三	四	六	九	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁	丁







北西ノ部

護王神社 北三丁	一条戻り橋 北七丁	白峯神社 北二丁	報恩寺 北四丁	瑞光院 北七丁	建勲神社 一丁目	大徳寺 一丁目	今宮神社 一丁目	忍んま堂 五丁	金閣寺 五丁	平の寺 一丁目	北持の院 一丁目	等安持寺 一丁目	竜安寺 一丁目	妙心寺 一丁目	御室仁和寺 一丁目
廣沢池 六丁	釈迦堂 六丁	愛宕山 三丁目	月輪山 三丁目	高雄山 三丁目	植尾山 三丁目	三寶山 七丁	祇王寺 七丁	二尊寺 六丁	天竜寺 六丁	渡月橋 六丁	嵐山 六丁	法橋寺 六丁	大輪寺 六丁	安樂寺 六丁	北不院 一丁目

梅津宮 一丁目	香津宮 一丁目	まつの尾 一丁目	花の寺 三丁目	大原の寺 三丁目	西岩倉 四丁目	三岩寺 四丁目	善峯寺 四丁目	粟生寺 三丁目	向日神社 三丁目	長岡 三丁目	柳谷 三丁目	空寺 四丁目	天喜寺 四丁目	天宮 四丁目	城宮 四丁目	城南宮 一丁目	北不院 一丁目	安樂寺 一丁目
長岡 三丁目	柳谷 三丁目	空寺 四丁目	天喜寺 四丁目	天宮 四丁目	城宮 四丁目	城南宮 一丁目	北不院 一丁目	安樂寺 一丁目	向日神社 三丁目	長岡 三丁目	柳谷 三丁目	空寺 四丁目	天喜寺 四丁目	天宮 四丁目	城宮 四丁目	城南宮 一丁目	北不院 一丁目	安樂寺 一丁目

六角堂

京都市六角島九東一あり 知復便

頂法寺と号す天台宗本尊如意輪観世音ハ  
 神長三寸八歩淡路國是摩訶止持と云西國十八  
 云聖徳太子の御別業也

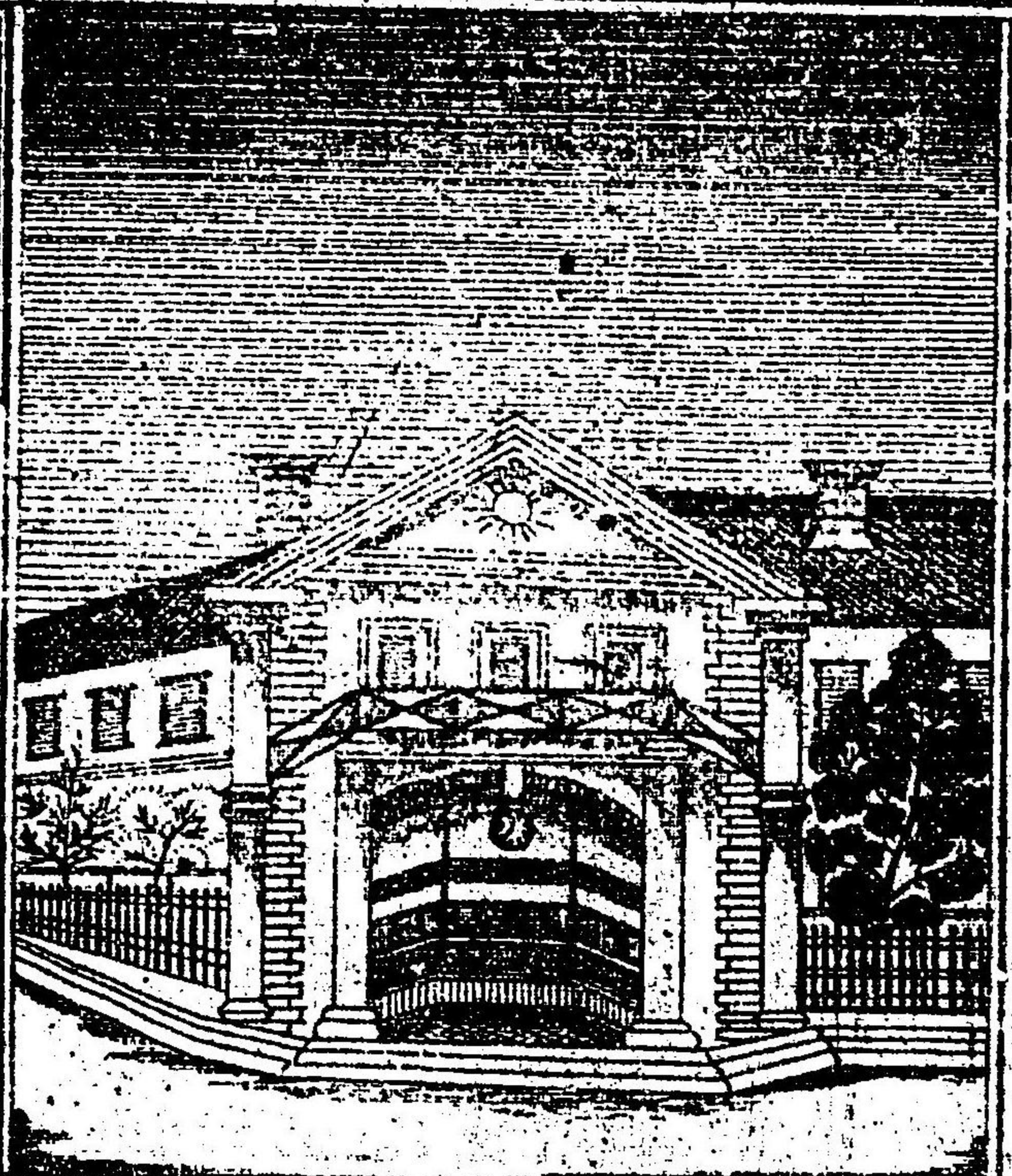


番札所立花の祖池の坊ハ當所が象元也



郵便電信局

同三條東洞院ニ有 管領寺へ  
 當兩局ハ市の中央ニシテ諸方の便利ニ  
 爲シタメ此ニ建当五條橋ニ支局を設ル



普願寺

同寺町六角ニ有  
 深州流美の本山也阿彌陀如来座像長八尺  
 天智天皇御本願惠隱僧部の開基也旧和州  
 平城在ニシテ此地ニ移リ 和泉式アヘ

誠心院

同所



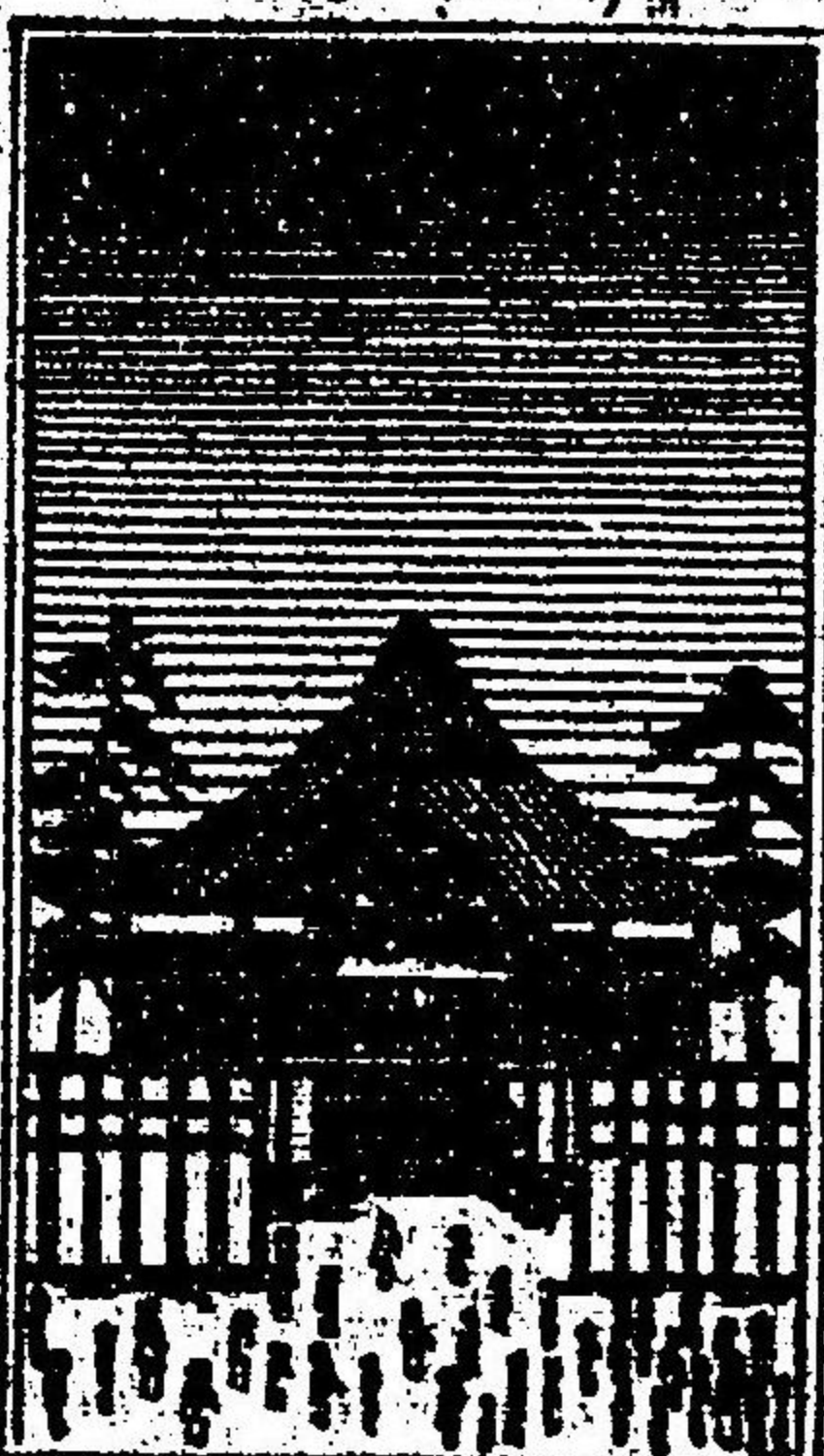
俗ニ和泉式ア寺と云當寺ハ御堂関白道長  
 公草創ニシテ小川一条ニあり一を今の地  
 ニシテ和泉式ア尼となりて後此寺ニ住  
 持といひり。和泉式アの塔傍ニ新端の梅  
 あり寺ニ存せり 精業師へ 一丁南ニシテ



蛸 蒸 師

同新京城二通り 錦天神へ

薬師如来ハ石像長二尺傳教大師の作往古ハ三条堂町



ありて水上薬師と称せしを此処よりつす

錦 天 神

同所

南へ下行ハ 金蓮寺ナリ

天満宮を祭ル鳥居の額ハ粟田尊円親王乃筆也



金 蓮 寺

同所

時宗浄阿上人の開基之俗ハ四条道場といふ寺内ハ杜鵑此松あり

漆 殿 地 蔵

同所

南へつぎハ およそハ

八坂神社御旅所 同所 東有

毎年七月

十七日ヨリ

廿四日迄

御神事中

神輿を祭

るるり右

雨日とも

山鉦の渡

御りり諸人群をひき

南へ下行て

大 雲 院

當院の開基貞安上人ハ信長父子のため

大開此命

まで創建

す信長父

子の塔有





神宮教會

同所より

伊勢太神宮應の出張所として社は大神宮  
を祭り事務を取扱ふ  
るの市内外神道敬信  
者此処に證け又時々  
説教有り 神札も  
附典す 御影堂へ六丁



御影堂

五条通寺町西より

新善光寺と号天長年中檀林皇后の建立と  
弘法大師の関基  
中興王和上人真  
言宗を改時宗と  
なれ本尊阿弥陀  
如来の安阿弥陀  
作也寺内扇屋有  
是名産なり

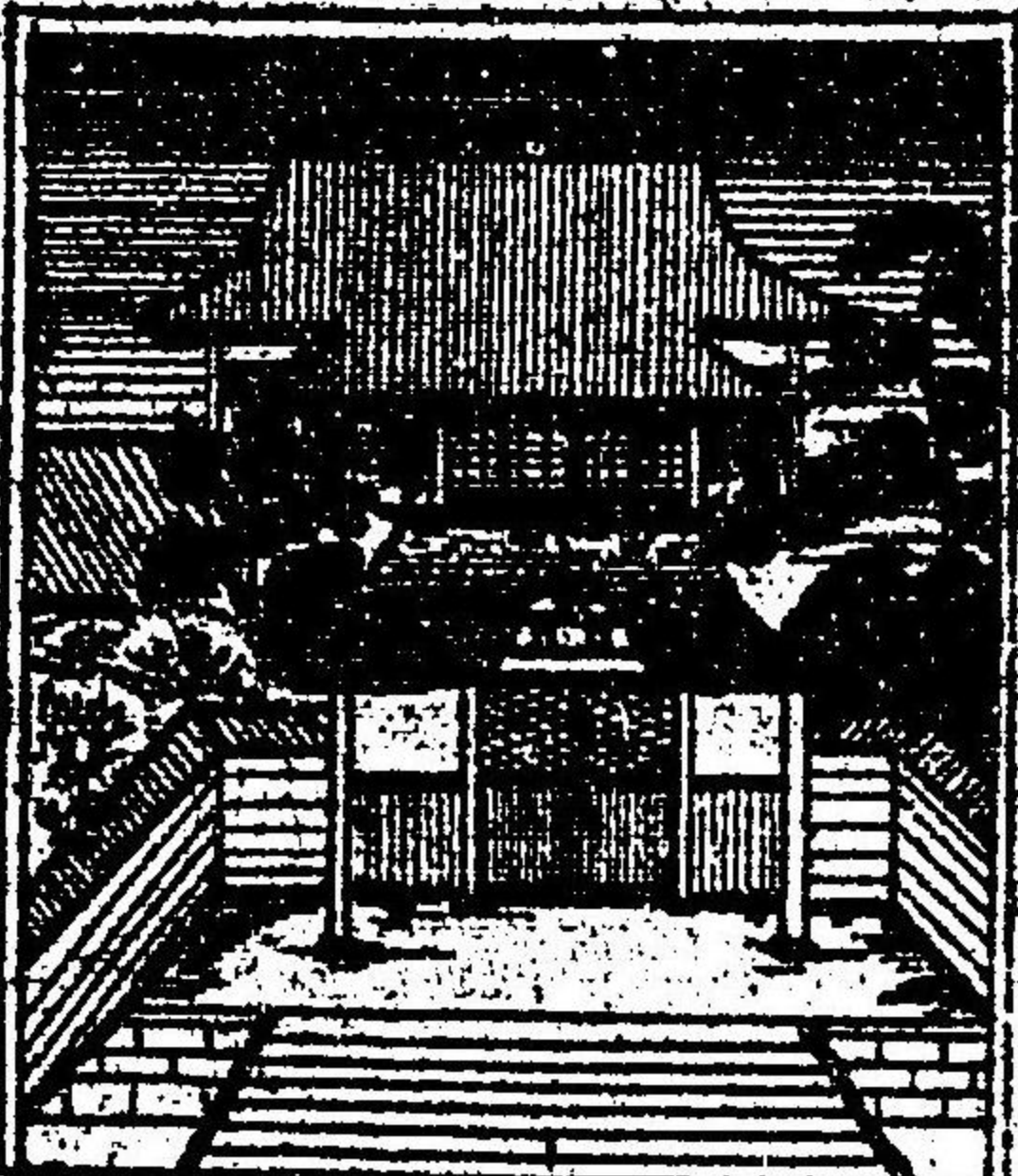


佛光寺

同坊町仏光寺南

三丁

汁谷山と号す本尊  
阿弥陀の慈覺大師  
の作関基見真大師  
弟子真仏上人中興  
了源上人九代目経  
光上人前關白の猶子として天台官主教覺  
法親王の戒師として是より僧正の官とあり  
後醍醐天皇の御宇に此如来 禁中ふ光明  
を放ち給より 勅して仏光寺と改号す



因幡薬師

同松原東洞院西

東本願寺へ  
六丁

平寺院と号す光朝禪師の関基本尊薬師  
如来立像六尺  
二寸釈尊の作  
大日本三如来  
の一あり





東本願寺

同鳥九七条北

ステーション  
二丁

十一世頭如上人の嫡子教如上人慶長七年



現在の地は創建よりまふ本堂は聖人自  
作の像を安置す、明治九年十一月聖人へ

見真大師の謚を給ふ旨を當本願寺專修寺  
又仏光寺真正寺錦織寺等へ御沙汰相成る

本尊ハ安阿弥の作あり

七条ステーション  
二丁

停車場

鳥九通七条の南より

ステーションと称し練瓦造り此地より坂

神間ハ明治十年二月五開業の式を行はる

同十一年八月十八日より大津より発着す同

二十二年よ

り廿五年よ

至姫路及尾

道通す同廿

二年七月一

日より東海

道筋全通を

せり其他ハ



諸人の知り玉ふ故略す

本願寺へ  
八丁



本願寺

堀川七条の北

開山辻化後十一年経て文永九年洛東大谷  
に紫宸殿を賜ひ本願寺と 勅号をたまふ  
其石矢札のくめ所々に移し天正十九年八  
月五日今の地に移し本尊座像丈貳尺五寸  
開山自作の像を骨肉の御影といふ亦庭



中は飛雲閣あり樹木石泉ホうるハ  
できは名高

真正寺

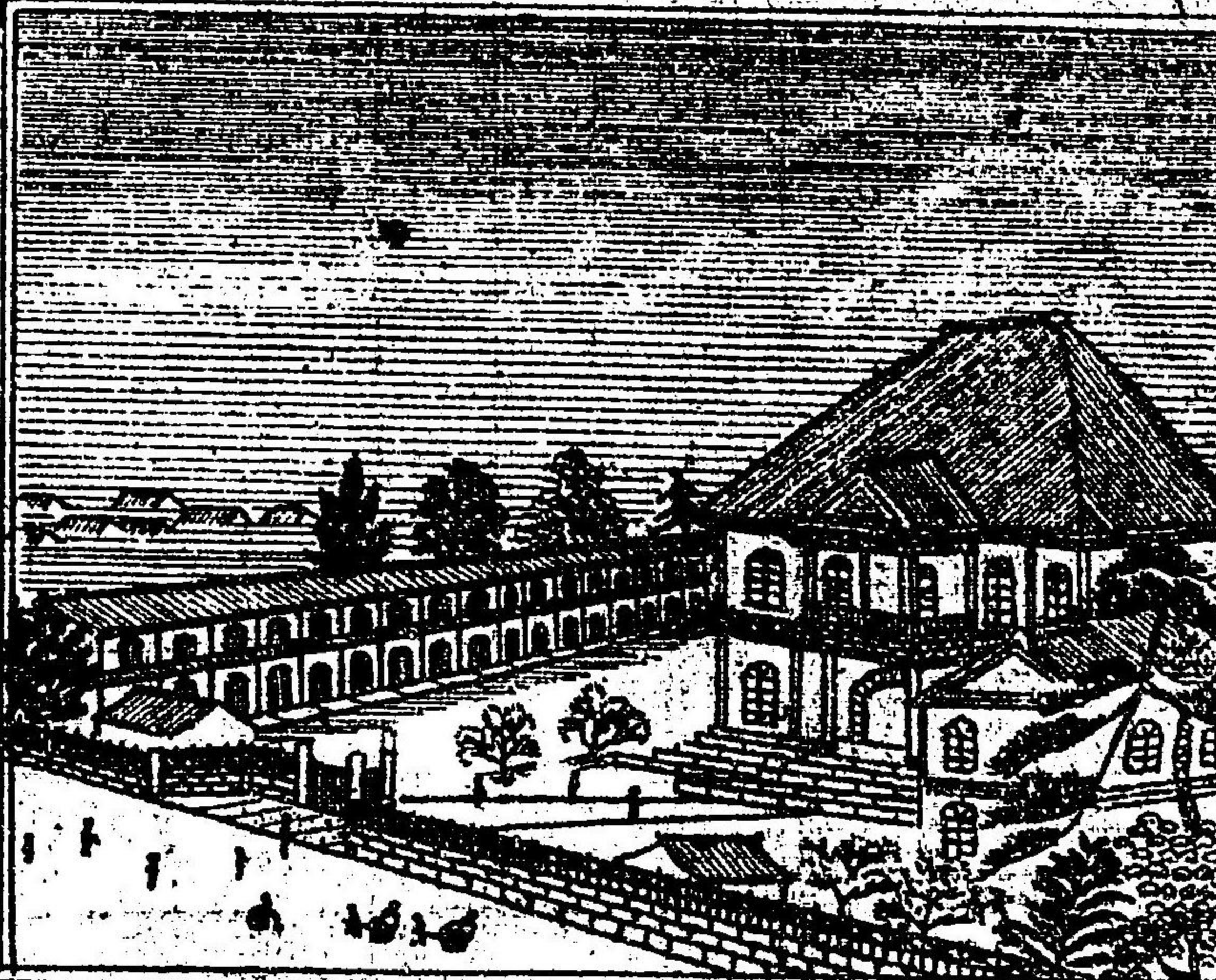
同所 東寺へ  
十丁

本尊安阿弥の作なり蓮教上人復号す

大教校

基所前七条上ル

是一派  
の学素  
也其形  
總じて  
西洋造  
まて  
杜観心  
是より  
東寺へ  
行ハ  
西南へ  
十丁と





東寺

八条大宮西あり

八幡山牧王護國寺秘密傳法院と号す開祖  
弘法大師 桓武天皇御宇に創建よりと  
羅生門ハ往昔平安城大内裡の南大門あり  
を惜哉火災よりりて今ハま  
五重の塔高さ二十九間横五間ありといふ  
此の門より西へ二丁行ハ大道寺といふ俗



六孫王

同八条通今本東

當所ハ源經基公の殿舎なり志を亮去の後  
冥を祭りて六孫王崇む後実朝の室三位禪  
尼住ゆい尼寺とあすと言書見ゆ

島原

同中堂寺町より

天正年中  
原三右エ門  
林又一郎と  
いふ浪人免  
許せられて  
旋所を抵く  
柳馬場二条より有しを慶長七年新町五条より  
うらゝ寛永十八年今この地よりつす



壬生寺

同四条十本東南

本尊地藏菩薩ハ座像より七丈三尺定朝の  
作人関基ハ鍛真和尚ありといふ。毎年四



丹十四日より二十四日まで大余仙の狂言  
ありて老若群をふす 本國寺へ

本國寺

同大宮松原南二丁一有

日蓮宗の本山といひ相及鎌倉松葉谷に在  
て法華堂と号け此宗最初の寺なりしを  
日靜上人貞和元年あけまうつす 天徳へ

天使

同松原西洞院西

桓武天皇遷都の始め平安城鎮衛のよめ  
造管心〇醫道の祖神とふす 菅大臣へ

菅大臣

同西洞院高辻北

菅原是膳郷の館より七道実郷の誕生の地  
ありといふ〇誕生水あり 空也堂へ

空也堂

同有兼師堀川東

極楽院光勝寺と号す本尊ハ空也上人自作  
の像を安置す此宗ハ有髮の僧よりて年の  
暮より大福茶せんおうるあり 神泉苑へ

神泉苑

御池道大宮西入

真言宗善女龍王の祠ハ池の中央に在此池  
より金造の太刀か上小野小町歌を詠せり





二條離宮(城)

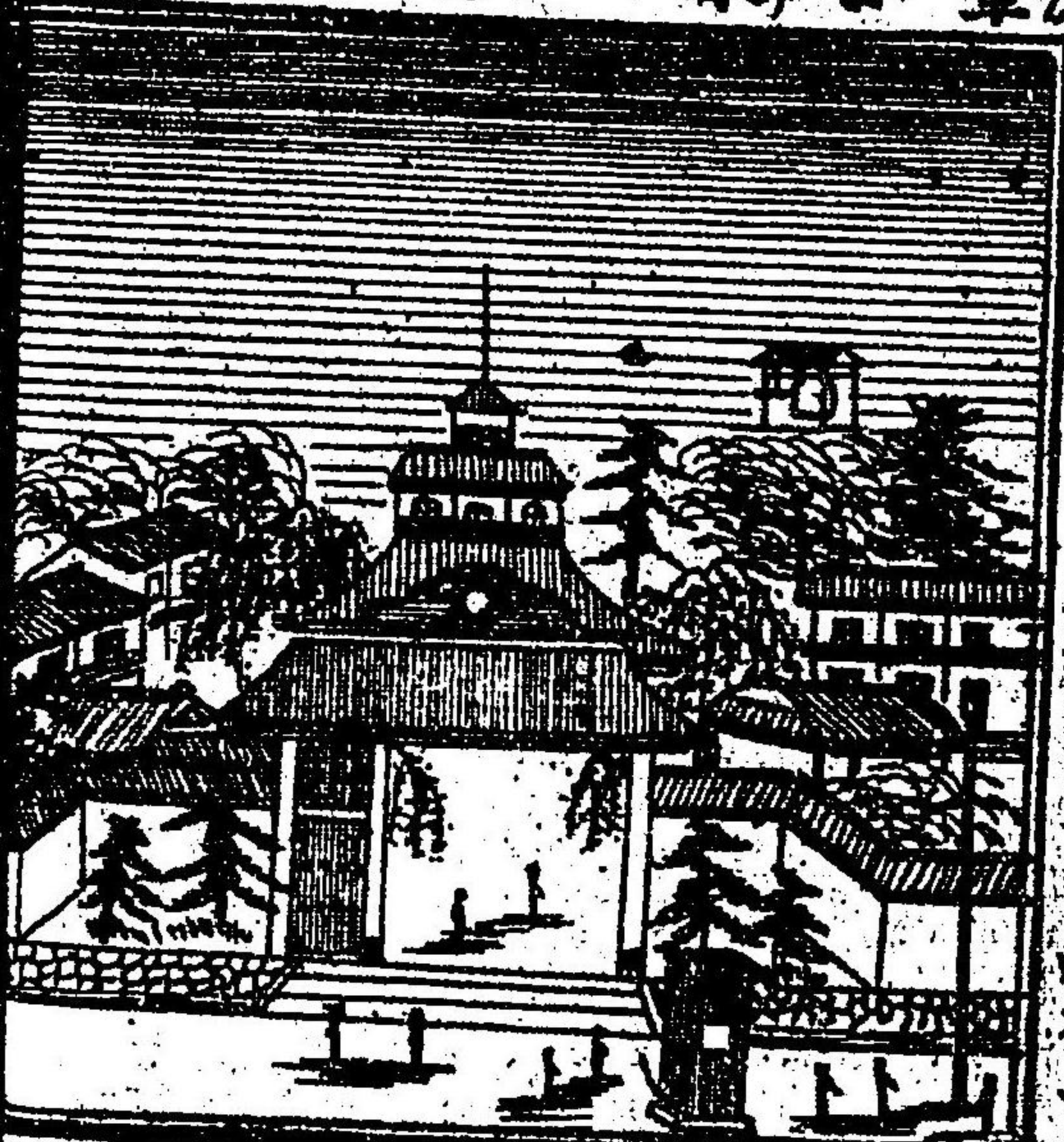
二条堀川より

永祿十二年己未織田信長公御遣督禁裏守  
護所とに全四月義昭公と与へ岐阜へ歸ら  
る其後一旦破壊せしを慶長七年今ノ錦城  
を築る明治御一新際ハ大政官代とし后暫  
く政府と成今ハ離宮と称せらる

京都府

下立賣金座より

旧幕の時ハ禁裏守護職廢教たり王政復古  
之后ハ軍務官とま  
し天子東  
行の後ハ  
暫く京都  
府とあり  
其後中学  
校とあり

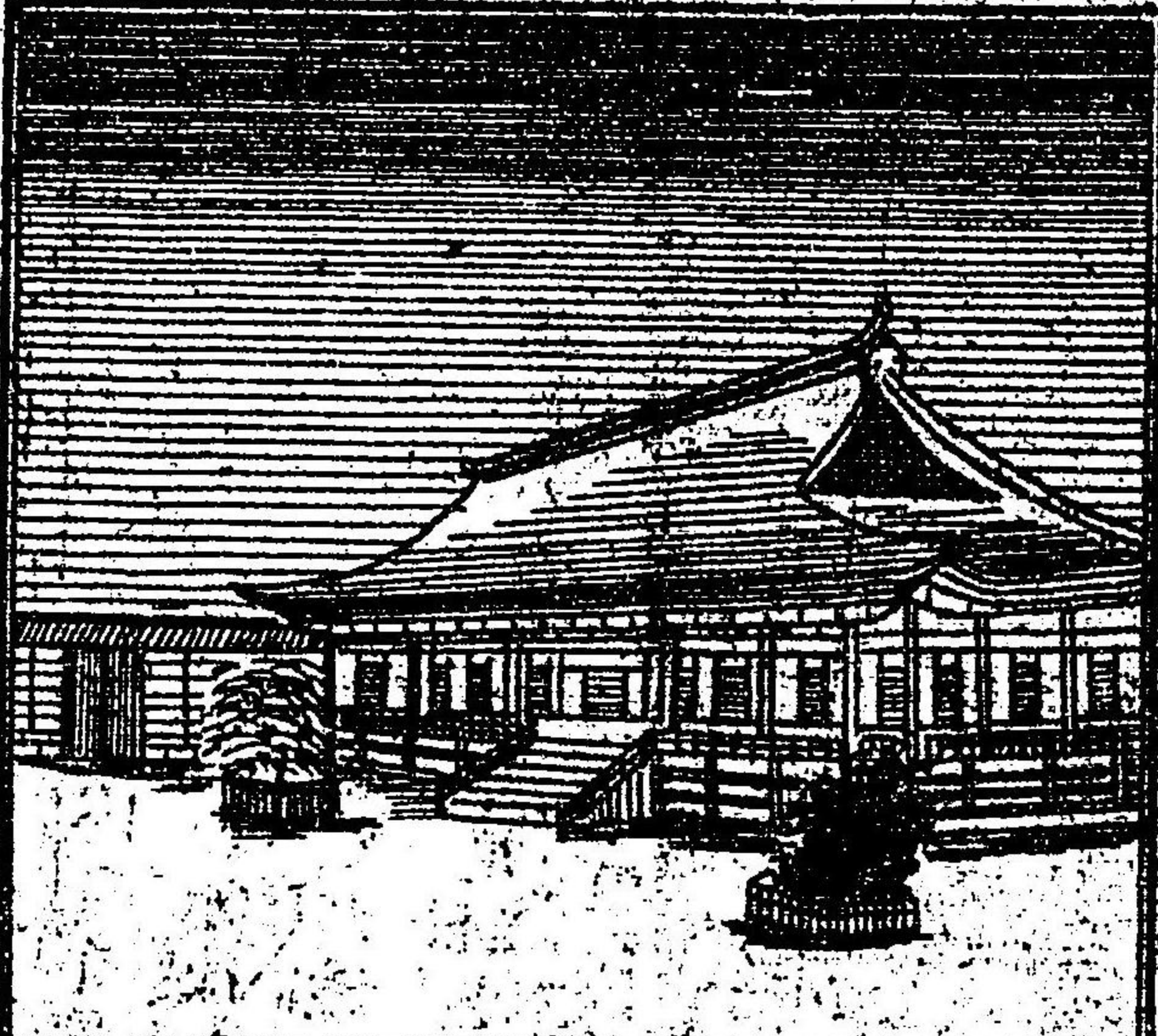


今猶京都府となりたり此北の方ノ尋常中  
学校あり府廳の門前ノ官立院として官立  
學問其他諸藝を教授する所あり

曰禁裏御所禁裏殿

應仁年中の乱後織田信長及び豊臣秀吉御

進啓水後  
水尾天皇  
御宇に至  
り内裏全  
備る其後  
安政元年  
四月御災  
上りりと  
皇古ノ後



し御造營よりて今も存に明治元年王政復  
古の除夷皇陛下東下し江戸を以て都とし



一八  
 て東京と称に其後東京宮内省より出張  
 りて主殿寮といひ夫々修繕を加へ万代不  
 易とせしる又明治十一年夏より旧公卿の  
 屋敷跡を開き御苑地と称し四季の花樹を  
 植付春ハ梅櫻桃等の花満開の時ハ実と美  
 麗の絶佳あり只根が深い酒店の無き又明  
 治廿三年近江國琵琶湖疏水を御苑内八重  
 垣の外溝に引用し所々で数箇の水溜あり  
 此用心水と称し火災の用と供に又土量外  
 とも水を運ハし府庫の堀に入る



相國寺

今出川海門の北に有

萬年山と号す開基夢窓國師明德三年建立  
 寺内は薩藩士の石塔在明治元年伏水戦争  
 よて討死の諸士を葬じ所々又西郷吉之助  
 の戦争の秘文石牌存す 同志社へ  
 三丁

同志社

同所の東にあり

上御霊社

室町頭にあり

卿社貞観五年鎮祭也祭神ハ下御霊(同)

享保十  
 七年ま  
 靈元天  
 皇及ひ  
 吉備真  
 備藤廣



嗣菅原道実を合祀す例祭五月十八日也  
 此地ハ元出雲寺といふ 療病院へ  
 十丁



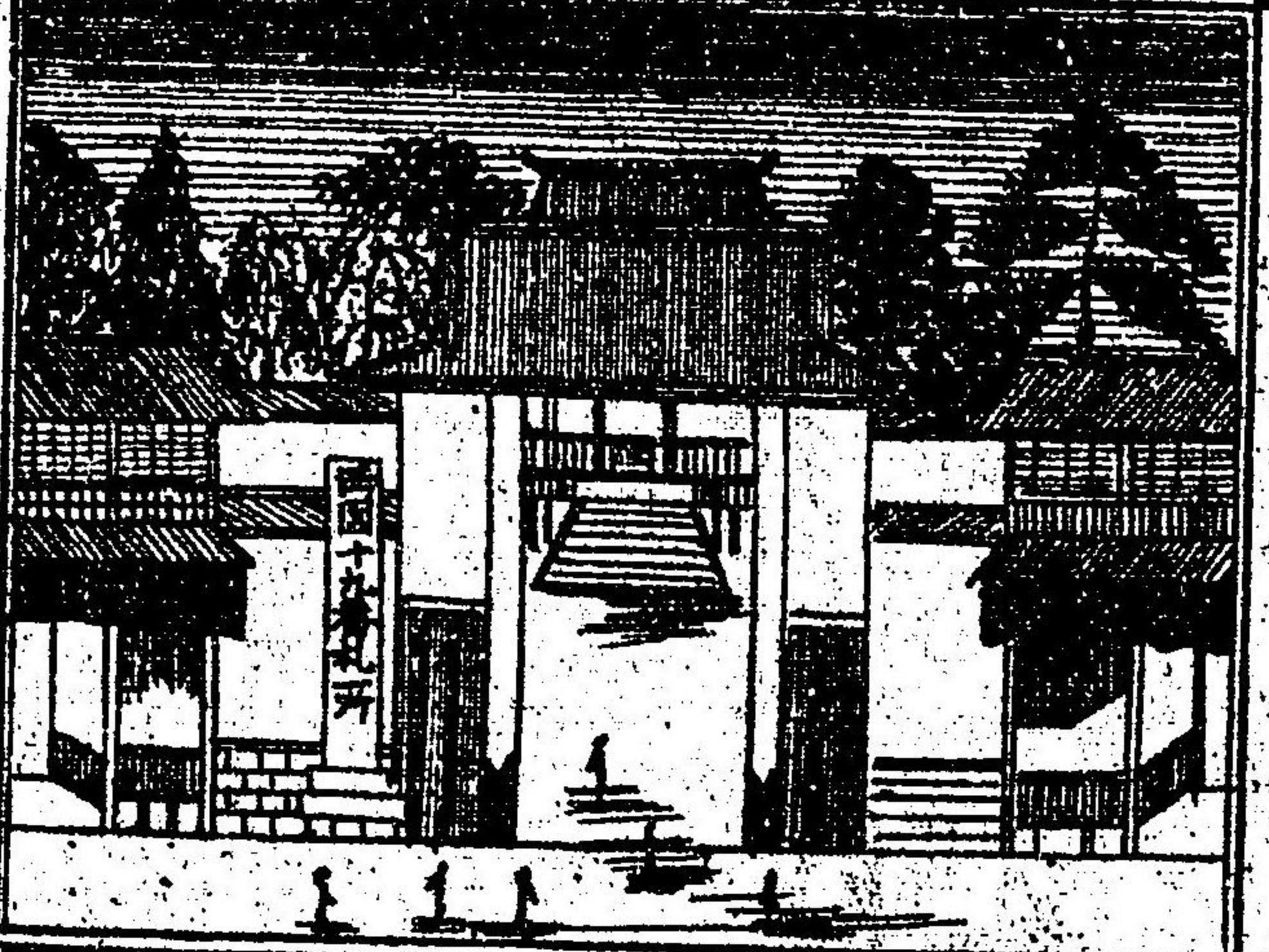




一条草堂

寺町竹屋町

天台宗本尊十  
一面観世音行  
田の作開基ん  
行田く上人常  
一草衣を著に  
る中一草堂と  
云昔一条小川  
と在西國十九  
番の札所ん



本誓寺

河原町二条上ル

高田派本尊阿弥陀ハ惠心の作本堂ハ季吉  
公北の政所の化粧殿と云

妙満寺

寺町二条下ル

妙塔山と号に法華宗開基ハ日什上人永徳  
三年五月建立に当寺と道成寺の鐘あり

西洋人の宿泊所として美観あり

同河原町二条南より

天主教會

同所の南より

天主教ハ  
一丁南より

本能寺

同寺町神小路北有

天性寺ハ  
一丁

日蓮宗日陰上人の開基也性古ハ油小六角  
ありしを今の地よりうつす

天性寺

同三条の北より

阿弥陀如来ハ惠心の作

矢田地蔵

同所

金剛寺と号す地蔵尊ハ清康上人の作

電燈會社

同河原町四条の北より

市中其他

所々へ電

燈を昇す

も金元也





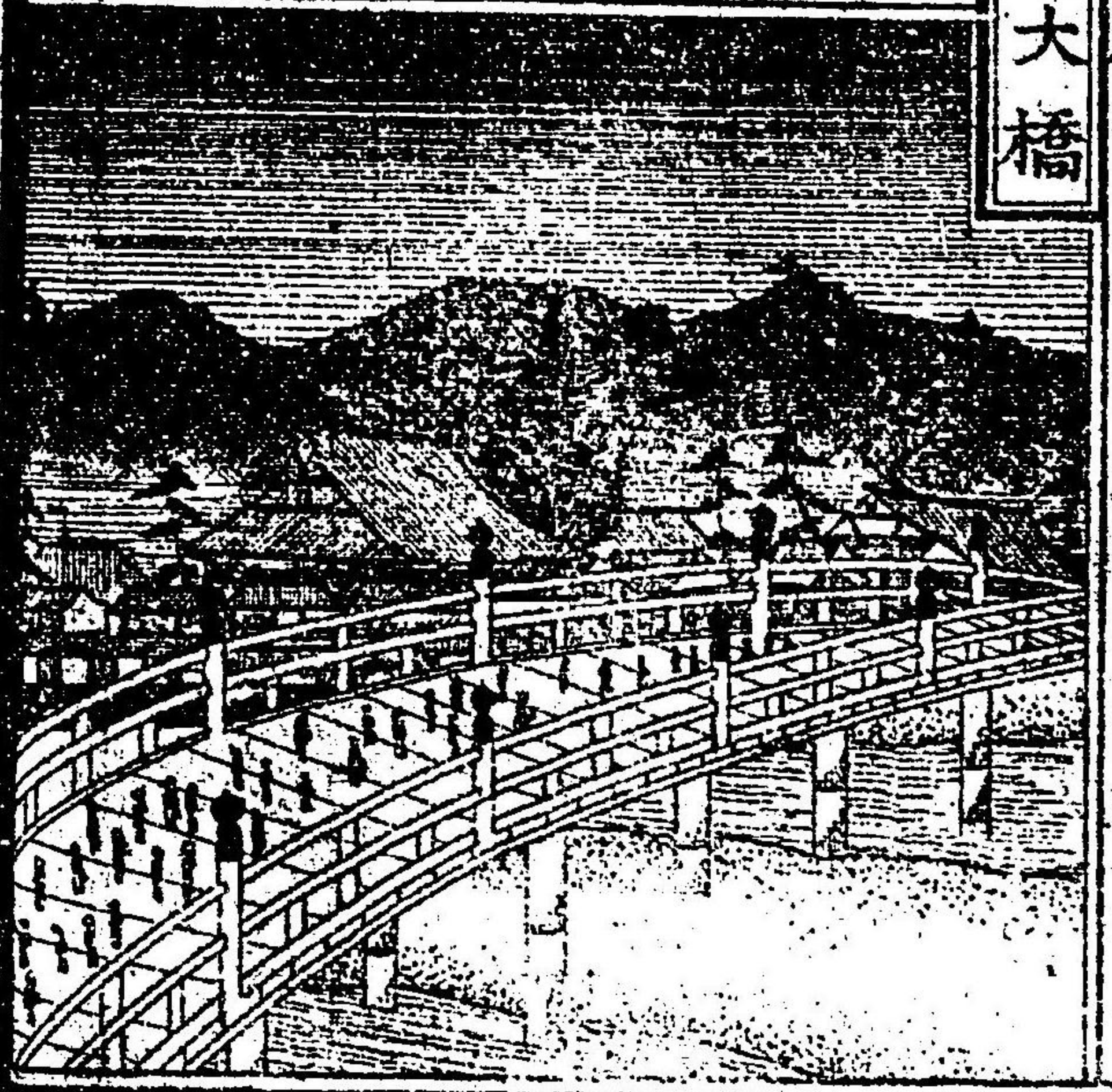
瑞泉寺

京都市木下町三条下ルニ有

浄土宗本尊阿弥陀ハ聖徳太子作開基ハ三  
空柱寂和尚也開自秀次公の母堂瑞龍院殿  
秀次公追福のよめ建立と云○秀次公其  
外三十余人愛妾の塚現在す 銘曰秀次  
思逆塚 俗よりくせうちといふ

三條大橋

三條通  
ハ京都  
已東の  
喉口ハ  
貴賤の  
行人常  
ニ絶す  
土地の



繁榮此橋上をりつて知るハ橋長さ六十  
三間幅四間五寸也欄干紫銅の擬宝珠十八  
本有銘曰洛陽三條橋至後代化度往來人士  
石之礎人地五尋切石柱六十三本益於日域  
石柱橋温觸平 天正十八年庚寅正月日豊  
臣初之御代奉増田右衛門尉長盛造之と而  
るふり 東橋詰北側 檀王あり

檀王

同三條橋東詰ニ有

法林寺と号す阿弥陀仏ハ惠心の作慶長年  
中袋中上人中興あり 聖護院ハ

聖護院

同九太町ニ東聖護院町有

智証大師の開基中頃三井寺門主住職より  
修驗道を兼山伏の長より○因ニ記す山伏  
一ニ派あり天台真言ホ也天台ハ當院ニ属  
一真言ハ三寶院ニ属す熊野三山の檢校ハ  
天治年僧正行尊をもちめとす 熊の社ハ



熊野社

同所

當社は後白川上皇の勅願よりて熊野新宮を勸請し給ふと云ふと初境内廣くして

宮殿樓門 廻廊板舎 經藏幾々 たり方今 廣のり ずといふ とも老木 繁茂とも を見て往 昔お知る みるらん 又東の方



百 一宇あり半提觀世音を安置す

長徳山知恩寺と

號一鎮西四ヶの

本寺之法然上人 弟子辨觀坊の園 基建久年中今の 市内に在りしを 寛文中現存の 地に移せ。弘法 大師真筆利劍の 大名号又宗尔王 平相國清 盛の古品の由来。 祐天大僧正真筆の 名号 等教品あり



干菜寺

同所の西にあり

西の方四丁行で干菜寺あり

干菜山光福寺と号す六齊念佛の本寺あり 又秀吉公は干菜をけんぜりよりこの山号をよみふといふ 御座社へ一里



御蔭社

比叡山のふもとより 俗に海生山といふ 下鴨皇太神宮降臨の地あり 赤山社へ四丁

赤山社

修学院村にあり 慈覚大師歸朝のとき感得しゆふあり

修学院離宮

同所東方に有 詩仙堂へ 十丁 後水尾天皇行宮し給し地ありて風景美よし筆紙に尽し其八景左記す

村落晴嵐 修学晚鐘 遠岫帰樵 松崎父照 芽櫛秋月 平田落雁 隣雲夜雨 叔峯暮雪 等也



詩仙堂

石川丈山の山荘と四壁は唐宋の詩人三十六人の像を画き其詩と書す故に詩仙堂と云ふなり 將軍地蔵へ 十丁

將軍地蔵

同白川の北

石仏地藏尊を安置す長二尺と此地ハ永祿年中城郭ありて足利義輝細川晴元籠城すといへり 高等中学校へ 十九丁

高等中学校

東山吉 田町に 在明治 廿二年 開校之 吉田社へ 三丁





吉田神社

同所

神樂岡と称す官幣中社武甕槌經津主神天  
兒屋命姫神を祭る仁壽元年辛未創建撰社

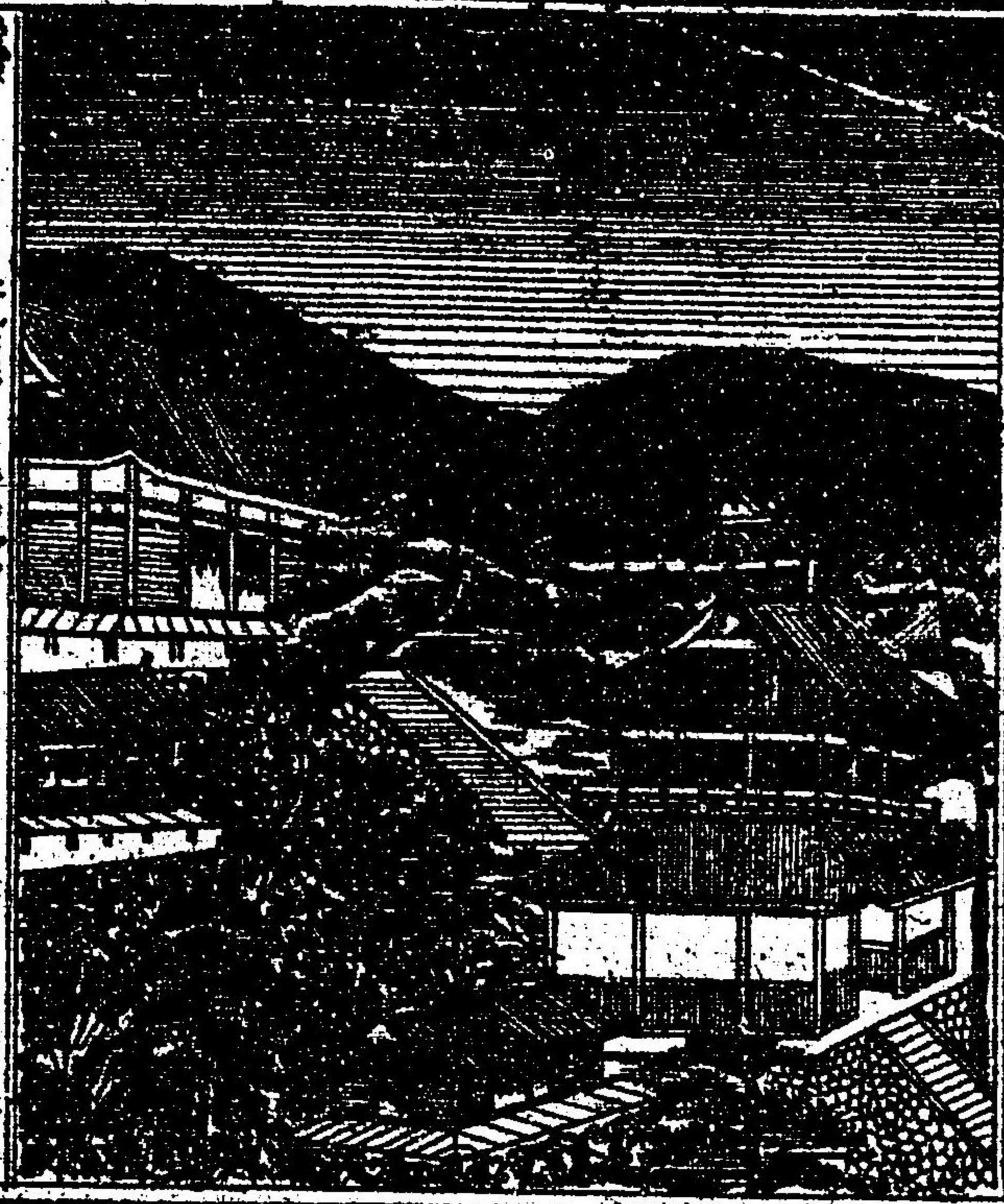


日本國中三千六十三神を勧請す當社大  
額ハ嵯峨帝宸筆小額ハ後土御門帝宸筆之  
内國の行人ハ必余拜をす 黒谷 三十一

黒谷

愛宕郡岡崎町一在

紫雲山金藏光明寺と号す浄土鎮西四の一  
円光大師の闍基安元年中創建初白川禪房  
といふ後今の号を給と又三重塔紫雲石亦  
熊谷教盛の塔有り 真如堂ハ一丁



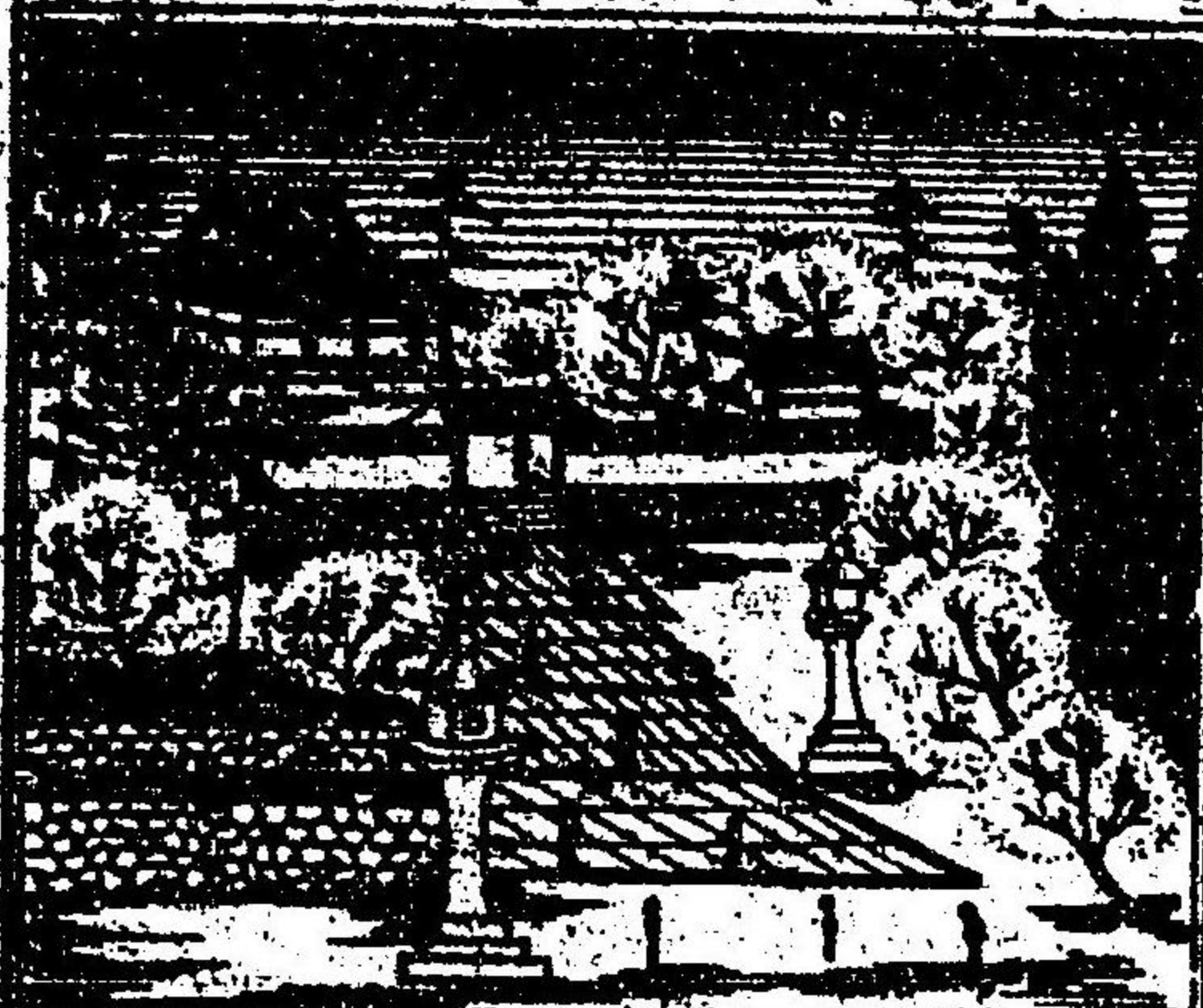
因よゆ小兒の月代をきまらふハ熊谷堂  
の供水とて月代をまのぬやうよある



真如堂

同所

鈴聲山真正極樂寺  
と号に戒業上人の  
開基正曆三年壬辰  
東三条院離宮を掃  
て給ふて當寺を創  
建あり 鹿ヶ谷



鹿ヶ谷

愛宕郡鹿ヶ谷

法然院と号す開基万無心上人法然上人專  
修念佛を修しゆふ旧せきまきり赤六室づり  
乃念仏ハ此寺の流也

安楽寺

同上

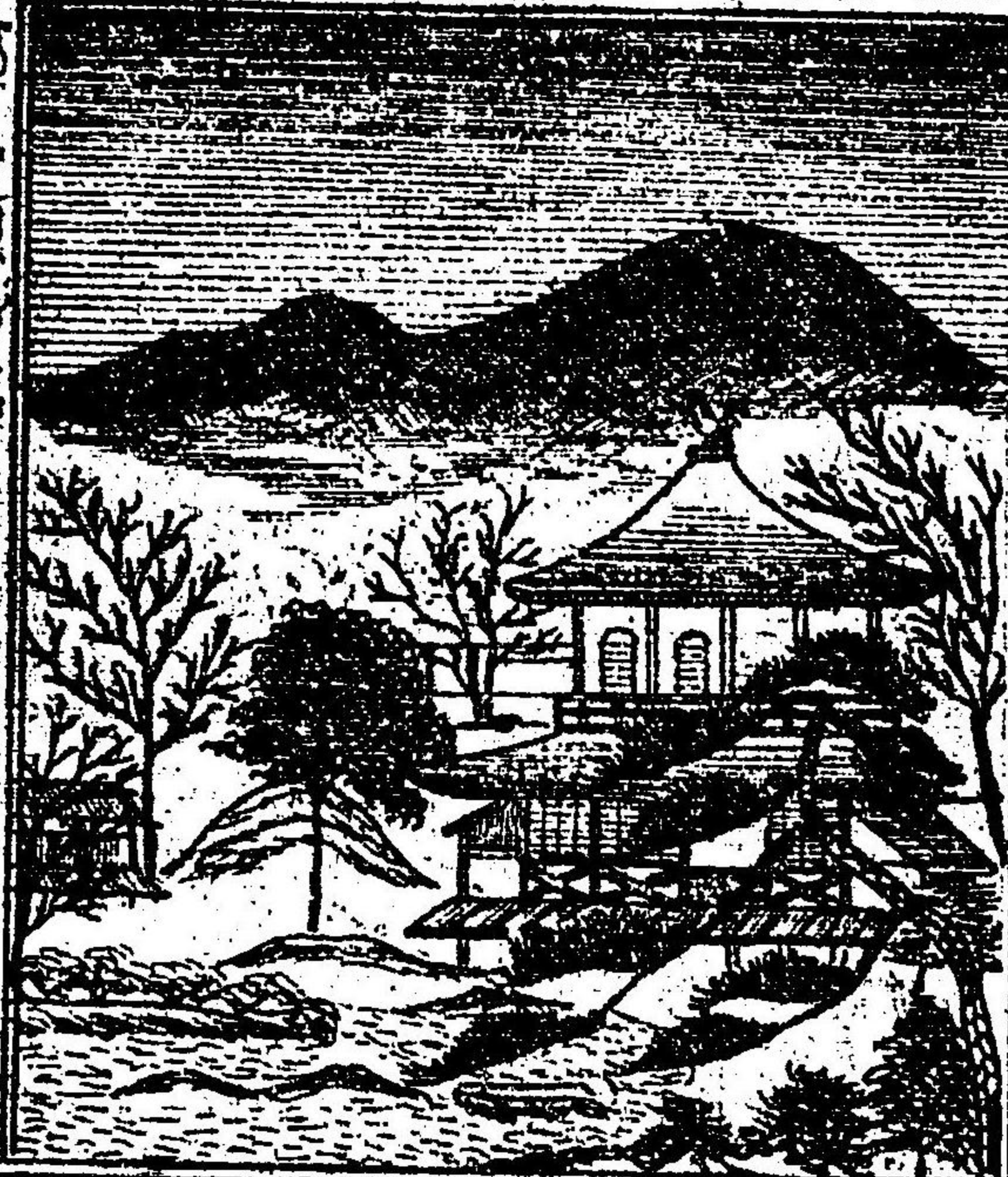
住蓮山と号し法然上人の徒弟住蓮安楽の  
兩僧に附屬しゆふ処也 銀閣寺ハ三丁

銀閣寺

同郡洋土寺村に有

文明十二年足利義政別荘を築るゆり則

二重の高ハ銀閣  
金閣小對しと  
銀閣といふ



ふ庭上の山永木石ふとと巧也

光雲寺ハ六丁

光雲寺

若王子の北に有

靈芝山と号す南禪寺英仲和尚の再興あり  
瑪瑙石の弁洗鉢在名器也 若王子ハ三丁

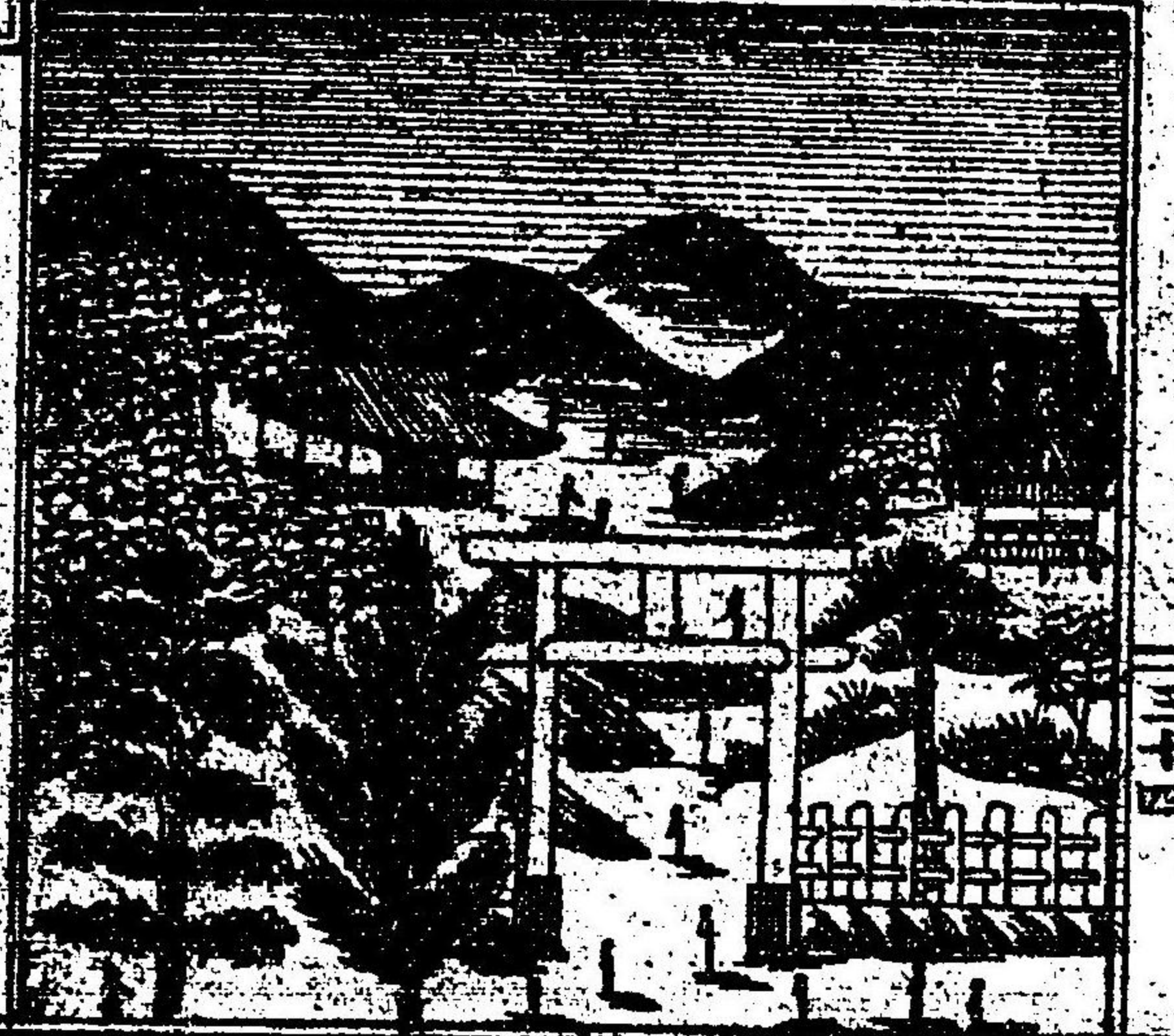
若王子

同郡若王子に有 永觀堂ハ三丁

後白川法皇の勅願し本社熊野三社若一王  
子鎮座す那智山本地十一面觀世音安置す



旧修驗道場  
 職して聖  
 護院の居寺  
 あり。御一  
 新に後寺を  
 築社とす  
 る後山より  
 なきあり



永観堂

同所

南禅寺(下)

浄土宗西山派末迎山禪林寺と号し清和天  
 皇勅願所として  
 真招僧都の草創  
 也永観律師中興  
 とす本尊阿弥陀  
 仏願の本尊と云  
 ふなり



南禅寺

同南禅寺(上)

禅宗之僧普門當寺を開く后正應年中にて  
 龜山上皇離宮を捨て此寺を建立ありしん  
 亦山門前より丈餘の石燈籠有銘曰佐久間  
 大膳亮平勝之奇造之すなり  
 インクライン  
 門前より



インクライン

同三条通東けありあり

當所ハ疏水中水路の不便ありが故水中に  
 て木の舟を架し此処を上下するん



其運ハ電流の  
仕掛マて運轉  
の自由ふる夏  
実ニ感マシム  
たり他所の行  
人一覽ヲキレ



仏光寺東山

市茶通白川ハシ東三丁  
粟田社ハ一丁

粟田神社

同粟田ニ有  
植髮堂ニ有

當社ハ八坂神社の新宮ふりといふ

同所  
青蓮院ハ南ニ有

植髮堂

同所  
青蓮院ハ南ニ有

見真大師青蓮  
院ニ得度ハ  
玉ハ髪と  
自らシム



尊勝院開基ハ傳  
教大師本尊米地  
藏ハ大師唐土  
リ持帰シム



智恩院

粟田の南

華頂山大谷寺ノ母に淨土宗惣本山圓光大

師の開  
基本尊

ハ圓光  
大師の

像を安  
置に山

上ニ燈  
の岩屋  
とて親





聖人の遺跡山門櫻の馬場又大師御廟ハ  
東の山上こほり釣鐘ハ高さ一丈八尺五寸  
九尺厚さ九寸九分

八坂神社

全所の南こほり

官幣中社にして祭神中央ハ牛頭天魚東の間  
八王子西の間箱田姫貞觀年中鎮座に官祭  
六月十二日私祭七月十七日同廿四日氏地

此神出に鐘を山  
夏ハ日本無  
日本無  
無双



櫻樹多し花の頃ハ夜櫻多し  
り西ハ八坂新地とて名高き遊園也

圓山

東山こほり

山門の別院として傳教大師開基本尊阿彌  
陀如来建久年中慈親和尚住王時宗と改  
む寺中ニ住阿彌正阿彌左阿彌端の茶室の  
各院より都下を眺望し歌舞を呼ひ住僧自  
由に依て諸奉會ハ此地ニ挑へる





長樂寺

谷所あり

時宗延暦十二年癸酉桓武天皇の敕命に依りて傳教大師創建に安徳天皇御衣の幡を建礼門院帰落の後御落飾有りし時戒師印誓上人へ御布施を賜りし御衣を幡とに山内温泉場ありて料理屋茶店有て眺望宜し

東大谷

下河原八坂神社の南にあり

真宗東本願寺見真大師の勸所より元禄年



中の遺宮あり竜谷山の額ハ寂如上人の筆又関山大師往生の地あり虎石ハ今此処に保存す 双林寺ハ南とあり

双林寺

同所有 安井へ五丁

至徳年中時宗と改め國阿上人の闕基あり頓阿法師康頼入道も此処に寓居せ西行庵又芭蕉堂在て雅人常よ集合す後柏原天皇宸翰を添給ふ中興の縁記ハ略す二名の基あり



安井

廣道二有 俗に安井前ト云 高堂寺へ二丁

金毘羅を祭現今安井神社と号す



高基寺

下河原有

鷲峰山と号す本尊ハ釈迦葉阿難也中興  
ハ三江和尚慶長年中秀吉公北政所の呉舎



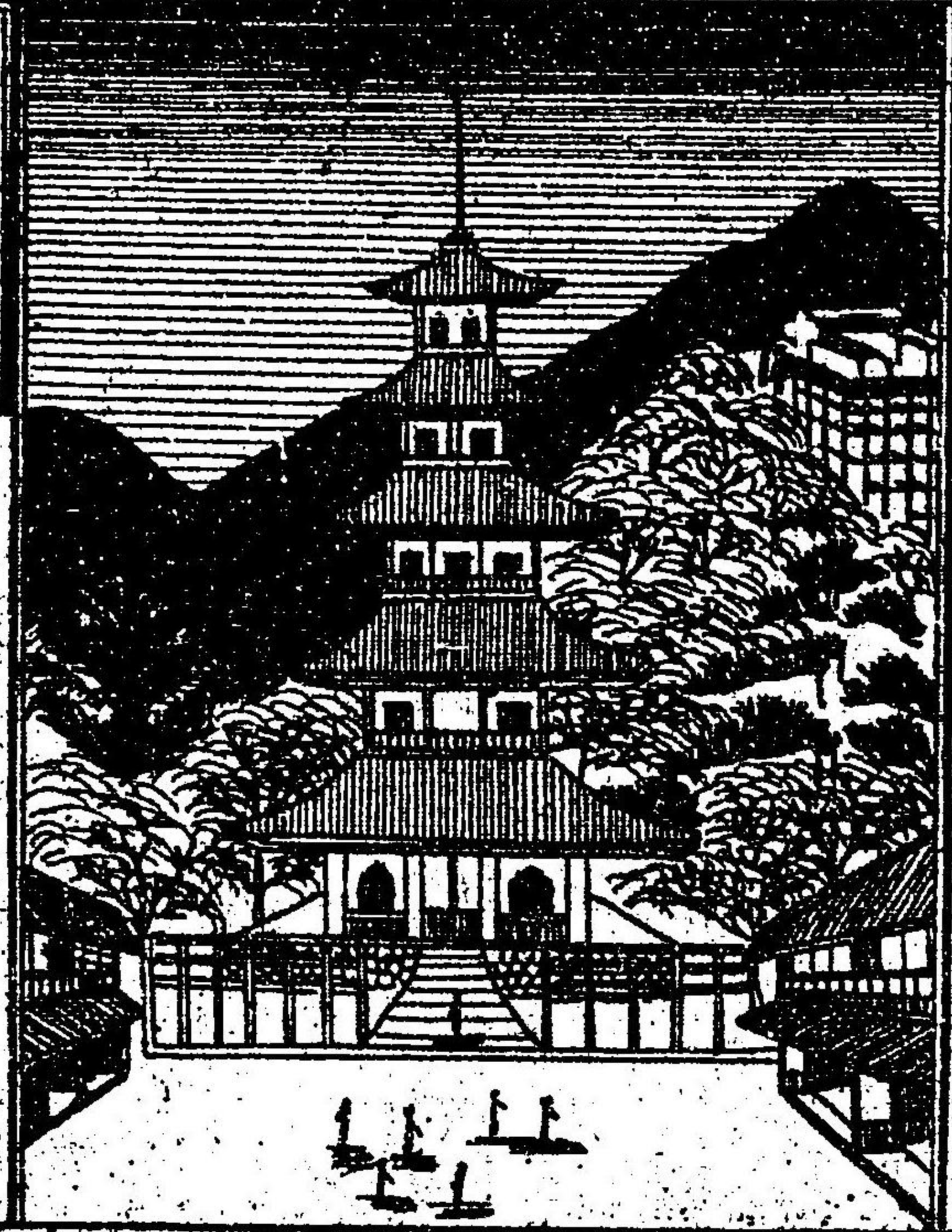
在又方丈の唐門ハ秀吉公の船樓ありし  
がひりな先年焼失す境内ハ萩の名所  
寺名高

庚申堂

同所南の方有

日本三庚申の一あり

法観寺と号し上宮太子の草創伽藍今ハ破  
壊して護之五重の塔一基を残せり本尊大  
日釈迦阿闍梨室之海藏貴所此寺に住



靈鷲山

会所の東南三寺坂あり

時宗正法寺と号し傳教大師開基中興阿  
上人住し時宗之改む本尊釈迦阿弥陀堂本  
尊齒仏と云当山勤王戦死の招魂場



眞正寺大谷 公所

靈山の南にあり近年迄ハ本願寺と付し

珍皇寺

松原通三草坂の西

本尊薬師仏ハ傳教大師の作開基慶俊僧都

清水寺

松原通東山の麓

音羽山と

号に西國

十六番の

札所本尊

十一面觀

世音大同

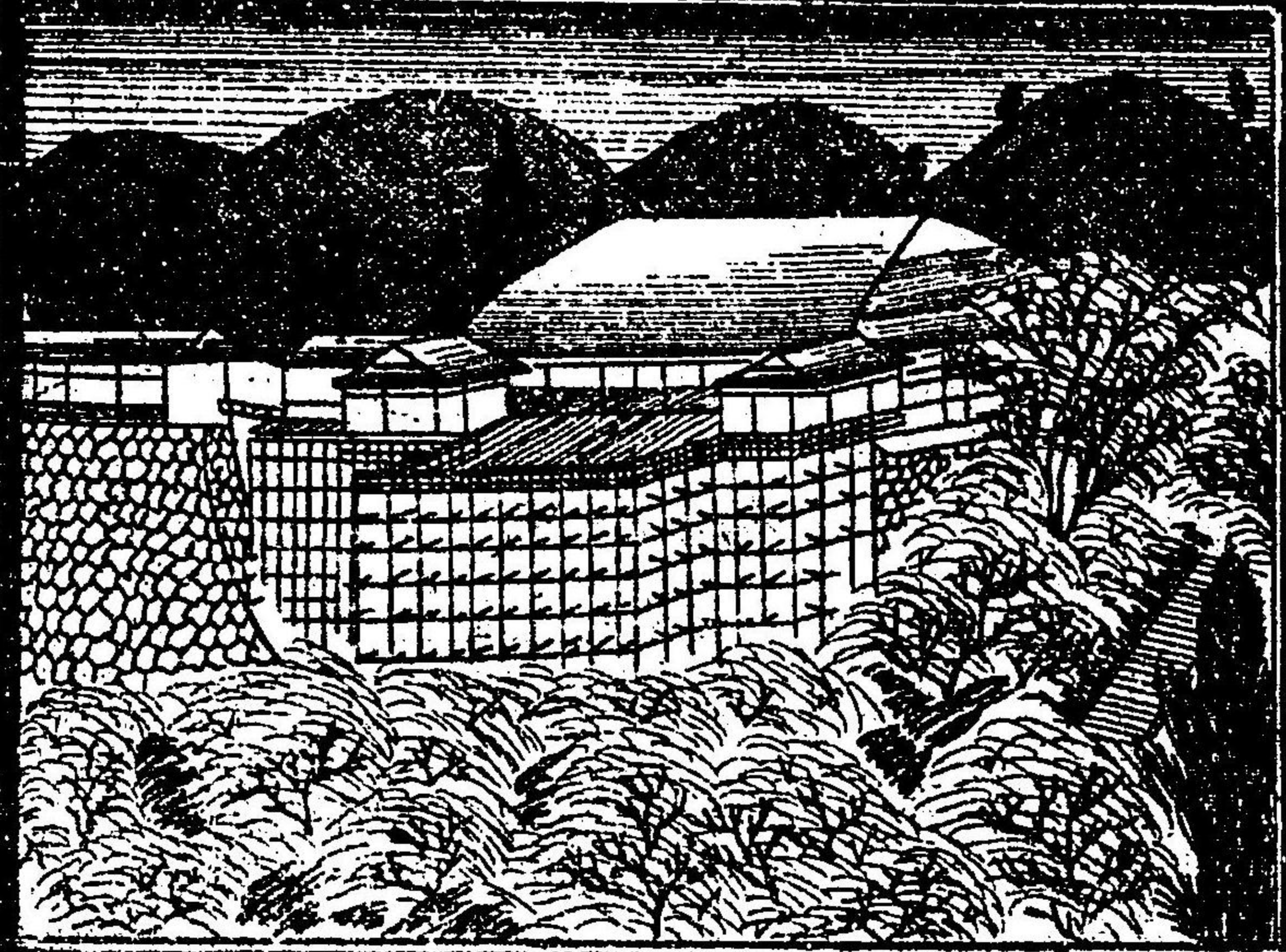
二年坂上

田村九建

立開基ハ

延鎮興院

本尊千手



觀音地主権現ハ大日貴命音羽滝ノ口三筋より凡形觀音ハ景清爪を以て石ニ彫り

歌中山清閑寺

愛宕郡清閑寺村あり

佐伯公行建立本尊千手觀音ハ菅公の作

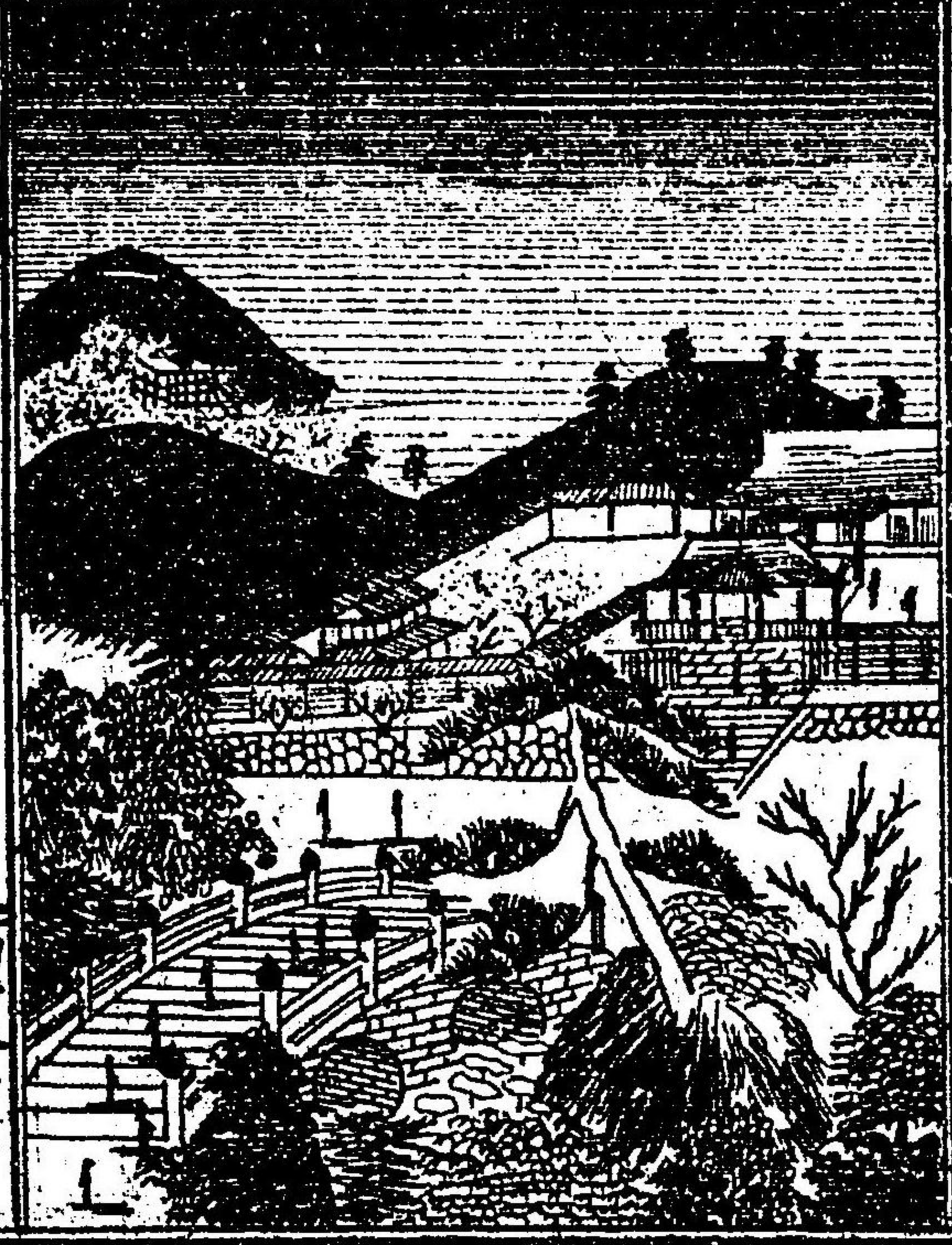
鳥辺山通妙寺

鳥辺山あり

法華宗此寺におし申傳兵衛の墓あり

日限地藏

本尊一祈願に利益著き





西大谷

下京区五条橋東にあり

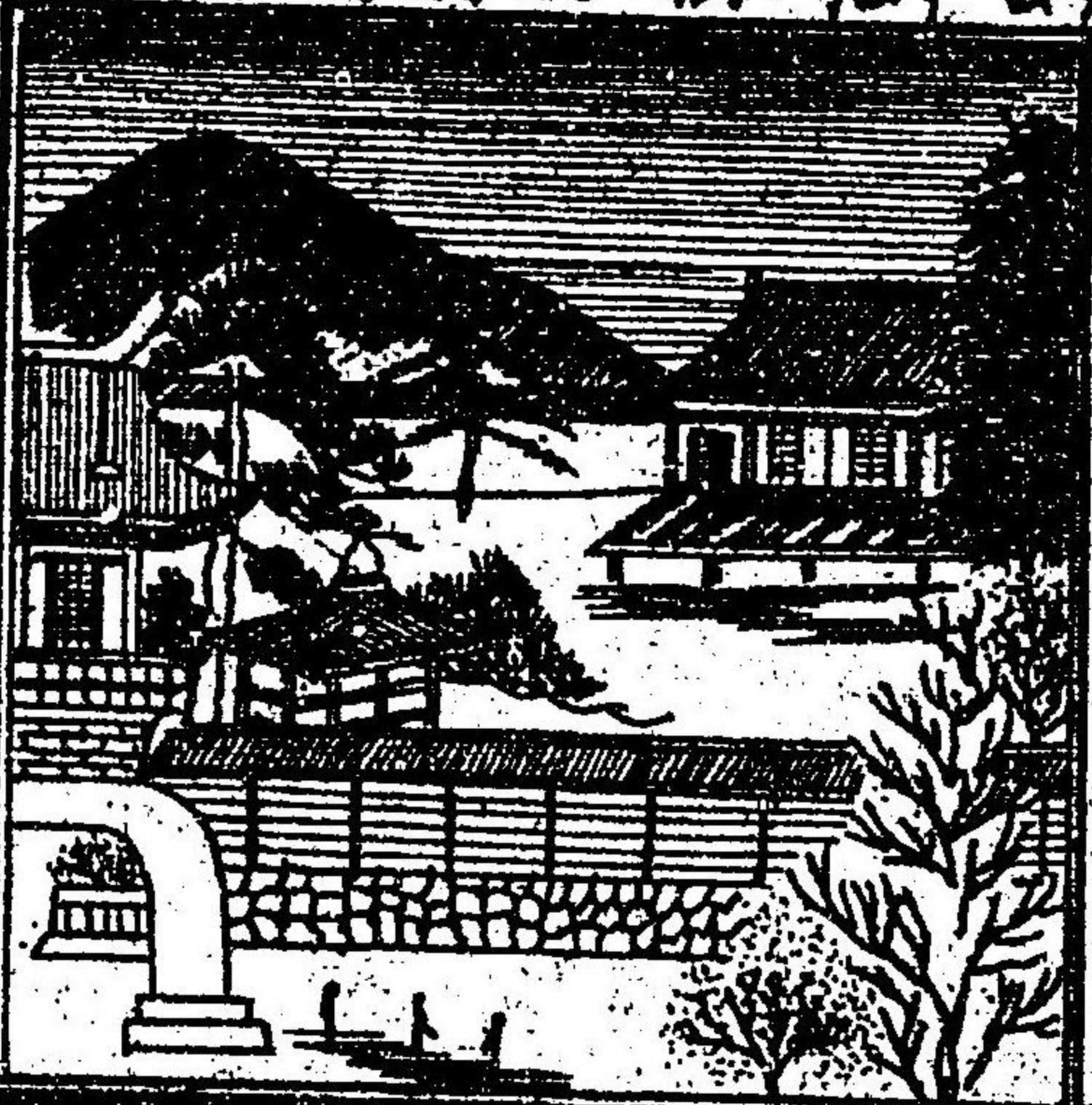
本願寺見真大師の廟所、文永九年草創、東山吉水の北大谷に有し、慶長年中此地に移し

小松谷

馬町の東にあり

浄土宗にして惠空上人開基、本堂ハ殿舎造九条殿寄附、門額九条関白尚実公筆、昔月輪禪定兼実公

の御所地ニ法然上人此殿御堂、小松内大臣重盛公の山荘にて煙篋堂地



三島社

全所の前あり

当社ハ婦人安産の守護神、氏子の若ハ一代親を禁は此西に信濃信の二葉あり

若宮八幡

六ハラノ東に有

弥皇寺

六ハラノ東に有

六道を云小野篁此処より冥土へ通といふ

六波羅密寺

松原大和大路東にあり

真言宗本尊十一面觀世音立像一丈空也上人の作

天曆五

年建立

阿古屋

塚同松

西國十

七番札

所あり



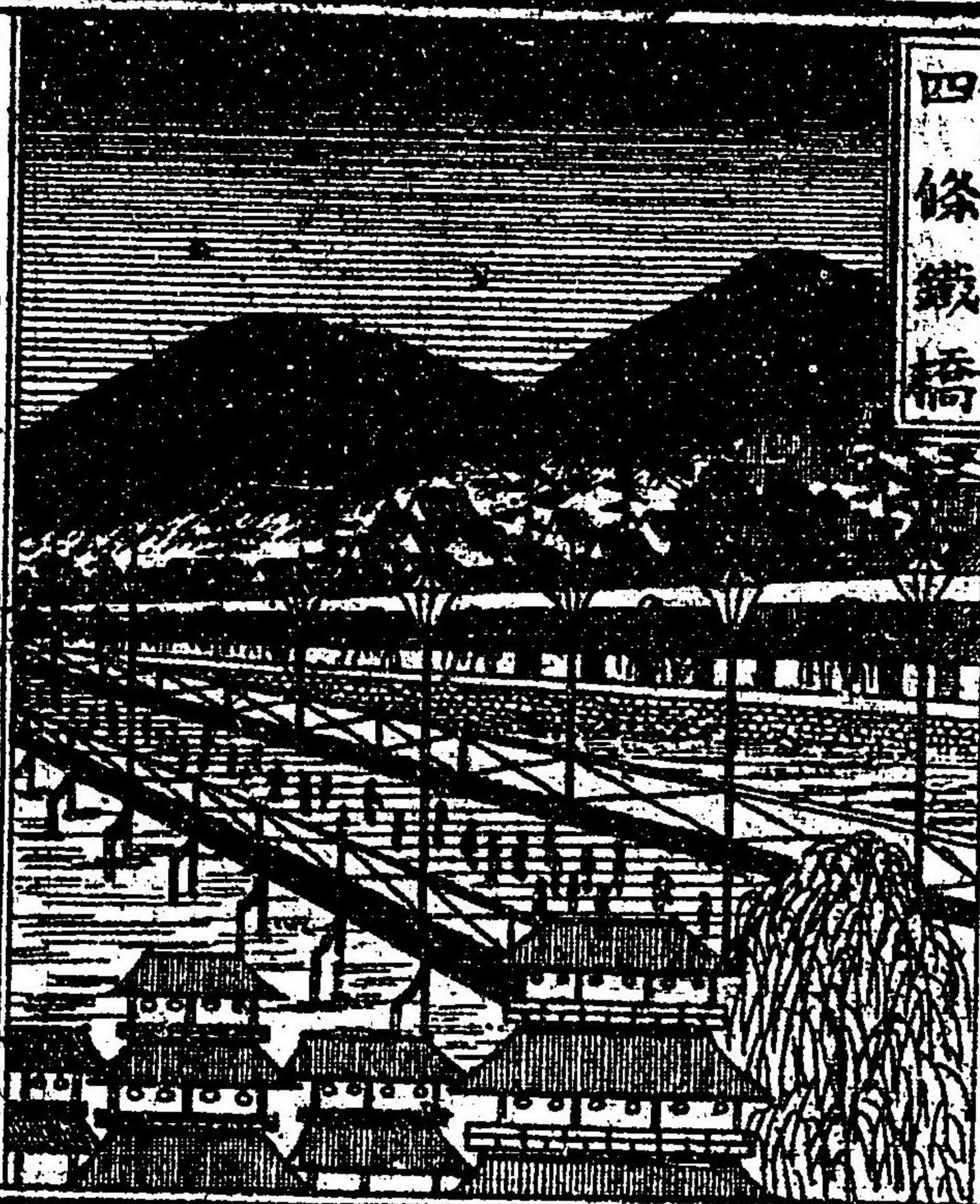
愛宕寺

同所六ハラ西に有

弘法大師開基本尊觀音左右脇士ハ毘沙門天地藏尊



四條鐵橋



明治七年四月一日渡初の式早此ハてつ造  
りて橋上は八本の紅白硝子燈を立復ハ  
夕涼とて諸人群をまぐ

同芝居

四條橋東詰まあり

永禄年中近江國住人名古屋三左エ門出雲  
のやくまといひくものど歌舞伎をまぐむ

本願寺火葬場小松谷後設谷あり

旧火葬場ハ所々ニ在しを一新の際悉く瘞  
に明治十一年両本願寺此地を開き建築に

仲源寺

大和大路四条角

浄土宗本尊地藏尊土中より出現し目疾地  
藏と称し又雨止地藏とも云へり

祇園新地

全所東

此より一カとて有名の青楼有又女紅場とて  
藝妓裁縫を教授に

驅徴院

全所

娼妓の徴毒を治療に

祇園館

全所

都下第一の劇場と

歌舞練場

全所



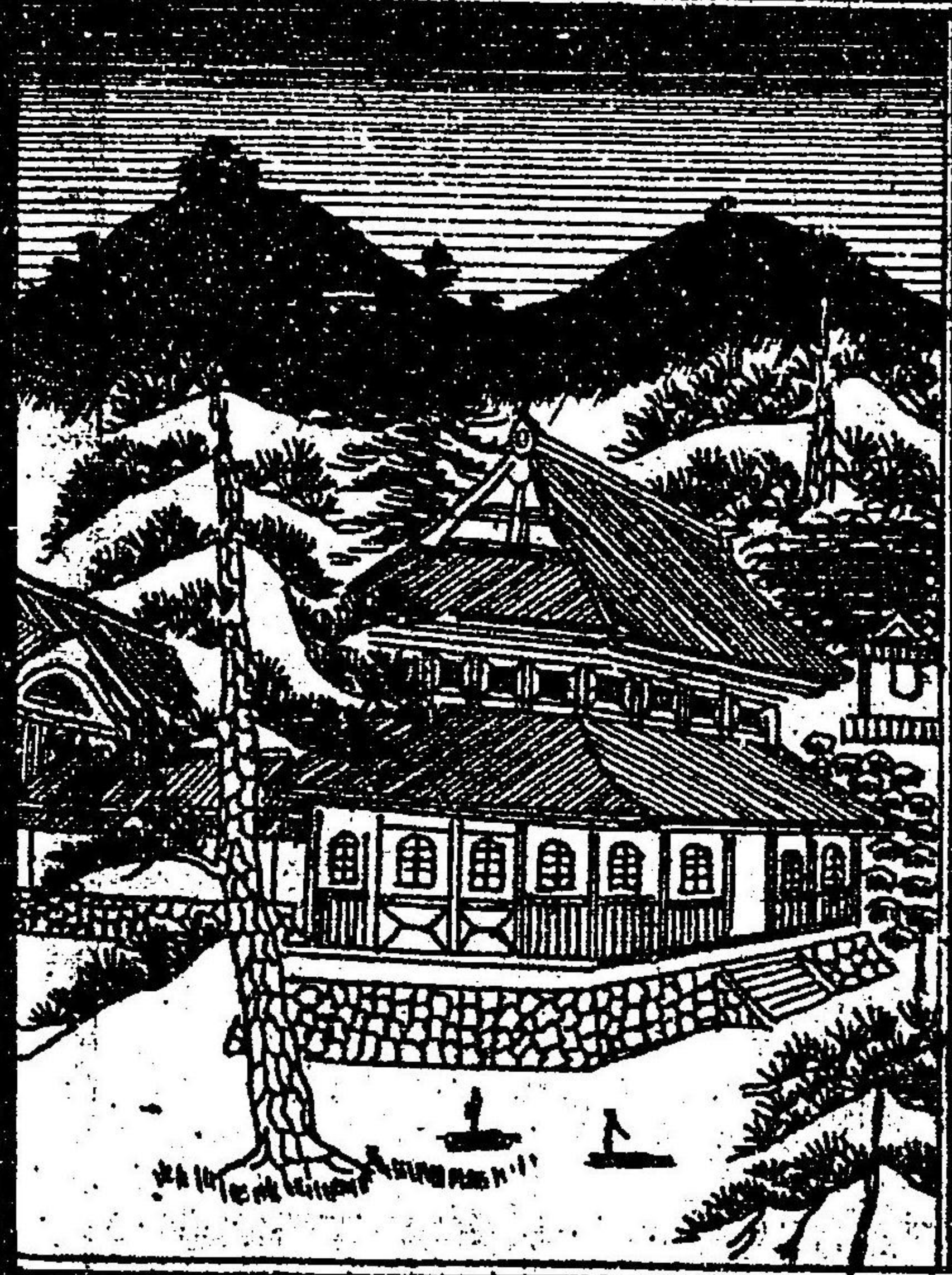
此場ハ藝妓舞子の諸藝を研究する所あり  
又毎年春都踊と称して藝妓の手踊を真行



建仁寺

大和大路四条南にあり

建仁元年源頼家建立に年号を以て寺号と  
また殿大臣六条河原に殿舎在しを後寺と  
あり河原院と号に当寺荒廢して大鐘は建  
仁寺に至る此鐘昔ハ毎夜陀羅尼經を唱へ  
て撞し故此鐘を林して建仁寺の陀羅尼の  
鐘といふ



蛭子神社

大和大路松原北にあり

祭神ハ蛭子命榮西國師勸請毎年一月十日  
初蛭子十月廿日蛭子講として参詣人多し

五條大橋

五條寺町東入

此橋昔ハ松原に架しを五條通と云豊臣秀  
吉公の時今の地に移し新に五條通とある  
慶長年中石を以造る其後改て木橋と成長

さ七十四間巾  
四間一尺右右  
の紫銅擬宝珠  
十六本有明治  
十一年又改め  
て西洋造と本  
し大小二橋と  
あり小橋ハ高  
瀬川に架は





耳塚

大和大路五條下る四百目

文祿元年壬申  
太閤秀吉公朝鮮征伐の時數万人の敵兵を討取し首級の替へ耳を切て持帰り寔檢入しを此に埋塚とほ

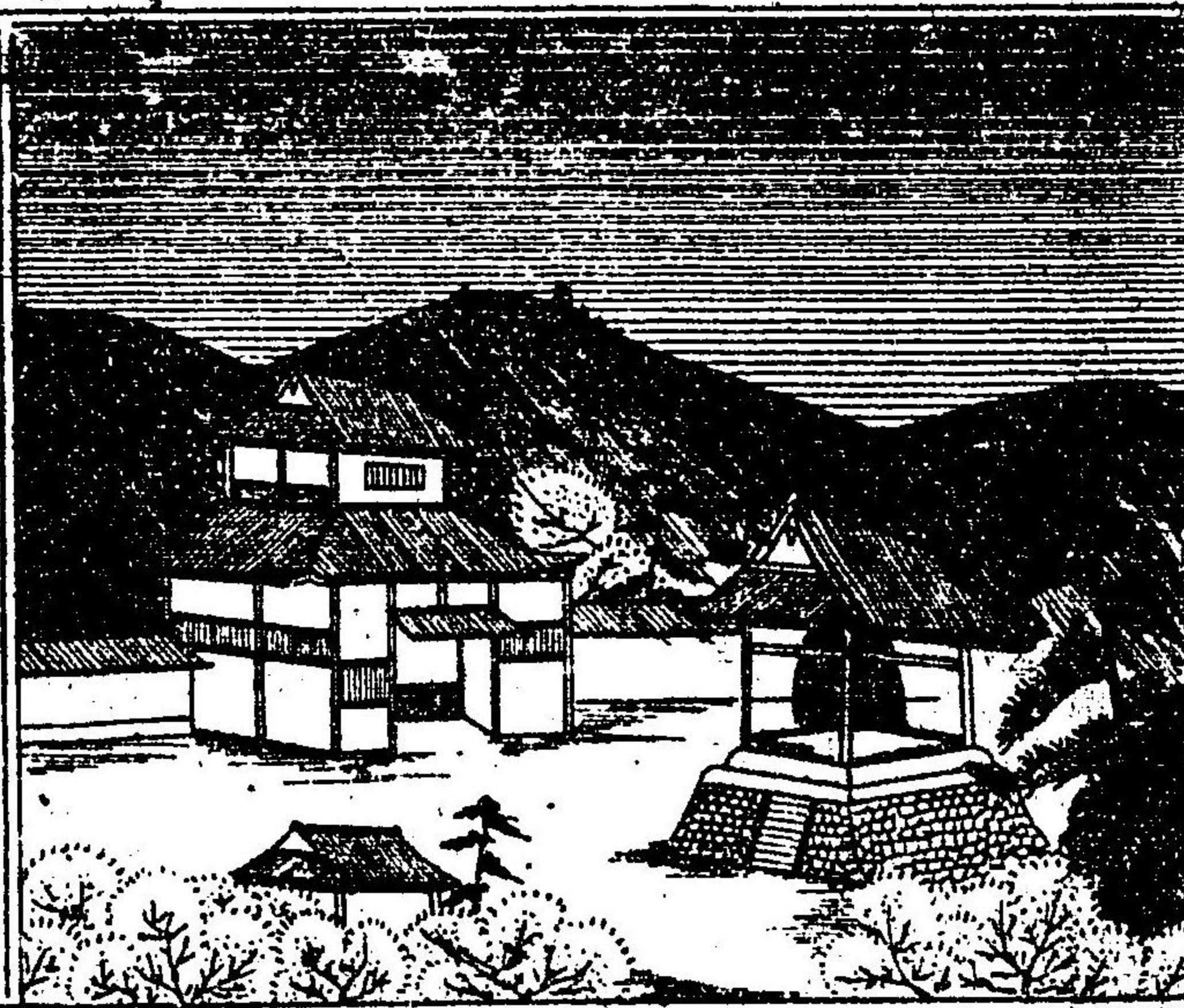


大佛方廣寺

全所の東より

徳陽成院の御宇天正六年豊臣秀吉公の御建立よりて本尊應舎那仏八座像御丈六丈三尺之仏殿東西二十七間南北四十五間二尺五寸後光の高十八間御首三間樓門金

剛力士長一丈四尺  
どま丈七尺廻廊南  
北百廿間  
東西百間  
日本無双  
の大屋之  
惜哉寛政  
十年七月  
鐘厚一尺高一丈四尺口のより九尺三寸



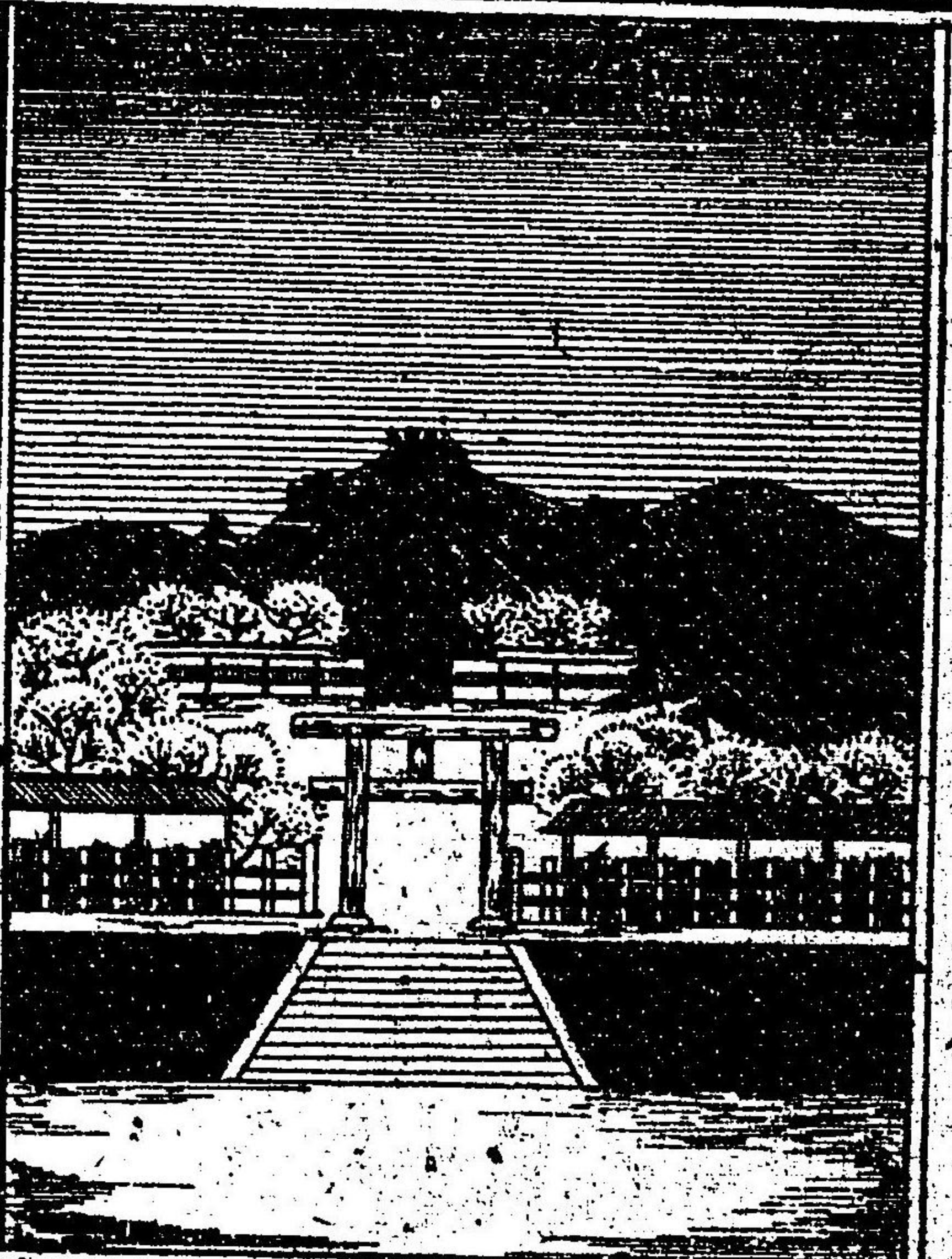
豊國神社

同所

別格官幣社豊臣秀吉公を祭る慶長四年四月豊國大明神の号を賜ふ官祭は九月十八日明治十年四月十八日を私祭神幸を



再興を社内の秋満植りて秋の北ハ市下の雅俗席をもちの延をいりきて販と



博物館

同所

當館ハ海内の珍古器物等を秘藏スル処也

三十三間堂

同所

蓮華王院と号す 後白川院の御願として 備前守忠盛奉行一十餘御堂を建立せ堂長 六十六間二間へして柱を立るよつて三十

三間堂と云ふ 往昔堂 後よ於て 矢數 有大矢 教の初ハ新今 熊野觀 音寺別 當誠其 後諸藩 士射術



を筆後記の臣和佐大八郎といふ者繪矣 一万三千五十三の内通矢八千百三十三也 是今世迄の第一ありといふ



智積院

大仏東の方より

真言新義也本尊不動明王真教大師の作  
し七開山の正憲法印也  
今熊野へ 十丁

今熊野

西園十五番札所  
真言宗本尊  
尊観音弘法大師の作

泉涌寺

同郡今熊野村に有  
旧兼学宗  
弘法大師  
開基建保  
六年僧俊  
仍中興也  
仁治年中



より曆朝の御後とて泉涌水吹出すとて  
寺号とす亦天子の官寺とらる人皇八十  
六代の帝と來當山へ納め奉る也 東福寺へ  
三丁

今熊野観音

同寺内より有 西園十五番の札所也

本尊観世音弘法大師の作也

鋼の宮

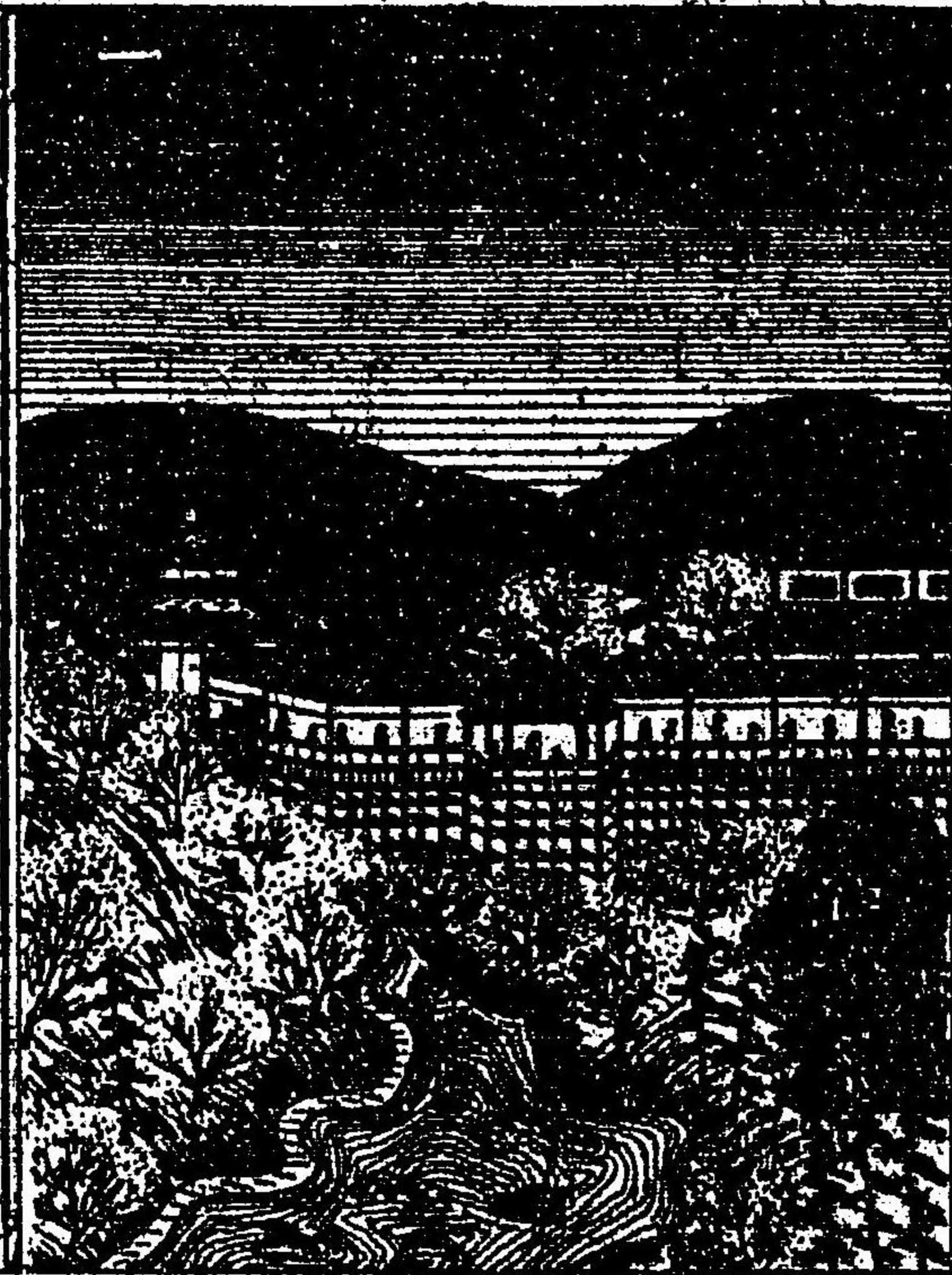
同寺門前より有

ナスノ与市

同寺より有

東福寺

同十八丁目より有





延應元年九条道家公建立開山聖一國師入  
北殿司自筆の大涅槃像ハ毎年二月十五日  
まわぐる又通天橋ハ紅葉の名所也稻荷八丁

稻荷神社

紀伊郡伏水街ニあり藤森八丁

官幣大社也抑人皇四十二代帝和銅四年二  
月十一日午ノ日此山ニ出現し給ふといふ



鳥居前ニ京津間流車のネノリニヨリ

藤ノ森神社

崇道尽敬皇帝崇  
道天皇伊豫親王  
を祭是蒙古退治  
の遺風と云や  
旗塚蒙古塚有



宝塔寺

同深草ニ有

日蓮日朗の遺骨を納石塔婆あり

下醍醐

宇治郡醍醐村ニ有

豊臣秀吉公建立あり

一言寺ハ  
十丁

一言寺

同所 日の兼一ハ  
八丁

少納言信西女阿波内侍の像有

日野の薬師

同日の村ニ有

法界寺と云ふ金銅座像の薬師如来を安置  
す世人乳のいづる祈願をかくりよ冥びん  
いぢり

上五いごハ  
二十五丁



醍醐寺

同よいご山上有

貞観年中聖

宝師の関基

西國十一番

札所あり

岩間へ五丁  
上炭山へ三丁  
柳明神(四丁)



柳明神

同木バトマあり

天忍骨尊を祭ると

黄ハクへ 十丁

黄檗山

同大輪田村有

三三戸へ 十丁

萬福寺

と号す

明暦年

中創建

関山隠

九和尚



三堂戸寺

宇治郡元三堂戸村有

本尊十手観

世音ハ關浮

檀金の立像

水底より出

現まといふ

此間ニ蜻蛉

石其他十帖の古跡を存す

とあり

久世郡宇治有

兵聖寺へ 二丁

常光寺放生院と号す関基ハ道昭和尚之

興聖寺

同所あり

惠心院へ 二丁





佛徳山と号す仏殿ハ釈迦を安置す道元和尚の開基より中興永井尚政の再興也

惠心院

同所あり

本尊大日如来ハ弘法大師の作開基惠心僧都則ち七十六丈の像を安置す 平等院ハ六丁

平等院

同所あり

永承六年の建立ハ仏殿ハ風凰をかどり左右の廻廊を雨翼とし後の麻を尾とす棟は雄雄の風凰ありよりのて風凰堂といふ



宇治橋ハ二丁

宇治橋

同所

八十五間五尺五寸大化二年道照和尚造之橋の中程一間斗張出せり秀吉公茶の水を渡せり所といふ 製鉄所ハ一里

巨涼湖

久世郡紀伊郡阿蘇郡四里也

宇治川より入水の湖之又蓮花を賞す各所

製鉄場

伏水向島有

水車より諸鉄細工の製造場也

観月橋

宇治川に架す

伏水東南に架するなり 御香宮ハ二丁

御香宮

紀伊郡伏水大手筋東の方より神功皇后を祭祀るん又神門の東の方より香水の井有



桃山

同伏水有

秀吉公の城址也松原山ハ本丸又弘雪堀あり此辺桃林より花の頃ハ庭容多し



東 北 の 部

無動寺辨財天

此敷山東塔

竹生嶋より白蛇と化して

影向有見真大師弘法の

への祈誓ありしとぞ



此敷山

愛宕郡に有

延暦寺と号す本朝五岳の一也延暦年中に

傳教大師建営之

根本中堂

講堂

戒壇堂

辨慶水

浄土院

傳教大師廟所

文珠樓

前唐院

慈覚大師廟所

千手堂

法華堂

轉法輪堂

常行堂

椿堂

相輪塔

元黒谷

円光大師旧跡

横川中堂

元三大師の廟所

矢脊の里

愛宕郡に有

小原の里

同上

極楽院

同小原村に有

本尊阿彌陀の恵心の作又賣炭翁の墓在

音無の瀧ハ來迎院の四丁東にあり

勝林寺

同所

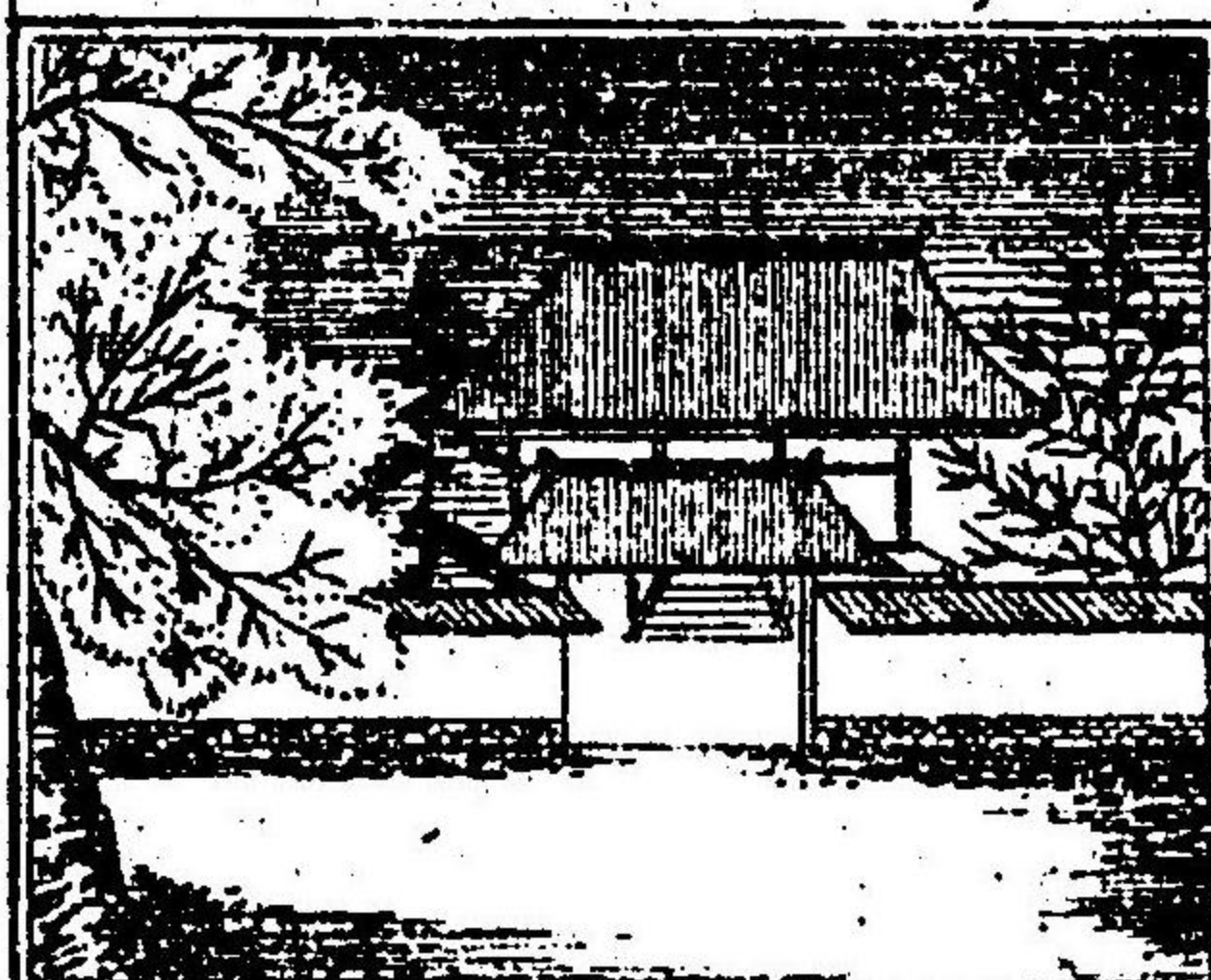
證拠阿彌陀と号ハ康成

作文治二年の秋法然上

人山門大衆と談論あり

しとき光明を放ちぬ

といふなり



龍の清水

名所和哥子

寂光院

同所

弘法大師の開基文治年中建礼門院(東居)

給ひしより尼寺とみる則門院の御影并に

阿波内侍の像在

江文社へ

八丁



江文社

大原郷の氏神也 北四丁

鞍馬寺

愛宕郡鞍馬村に有 十丁

本尊毘沙門天延暦十六年大中大夫藤伊勢人創建より僧正谷ハ坂もち八千あり

貴布祿社

同貴舟村に有 上賀茂ニリ

官幣中社水神岡象女也雨を降り又雨止る神又龍王もき有

上賀茂神社

同上賀茂村に有



官幣大社本社御祭神を祭る王城の鎮守なり欽明帝の御宇初めて祭礼を行ふ官祭ハ今ハ五月十五日より俗に葵祭と云六月五日に競馬式あり

御菩薩池

愛宕郡幡枝の南

大池有傍に地藏堂あり六地藏の一也

北岩倉

全郡岩倉村にあり

大雲寺と云天台宗知弁大僧正の開基大雲寺の額ハ佐理卿の書あり

三宅八幡宮

全郡高野の北に在り

此社ハ小児虫一切の利益あり故考詣多し

下加茂社

加茂川今出川に在り

官幣大社多々

須玉権賣命大山咋神を祭

る或ハ角身命多りと云境内に終神社あり此社地に諸木を植むハ悉く終に化在り乱の森に清水涌出る是乱川の源あり



暑のハ谷  
ハ涼み行  
人多く料  
理ハ人の  
好に應に  
官祭ハ五  
月十五日  
是を祭祭  
といふ



京都織物會社

川加茂川御幸橋より

明治廿三  
年と落成  
は西海道  
りとして  
則ち宏大



紡績會社

賀茂川筋御幸橋東より

牧畜場

同上

北西の部

護王神社

京都市上京区烏丸九上長善町南有 辰橋 六丁

別格官幣社祭神ハ和氣清麻呂の靈を祀る

あり本社

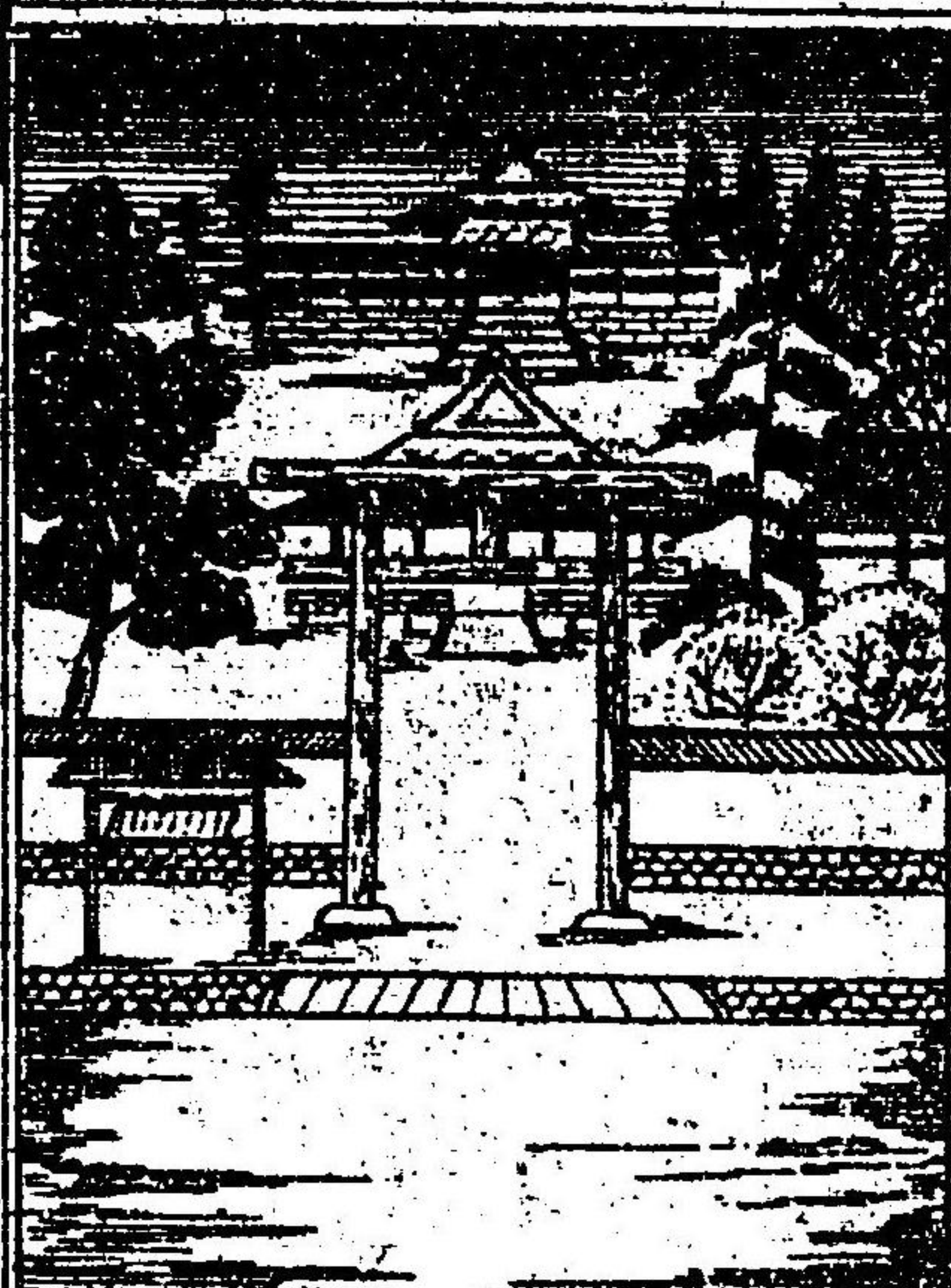
ハ高雄山

は有を明

治十九年

十一月三

日此処縁



一條戻り橋

一条堀川に架す

淨藏貴所父は達と此処迄來りしは父の葬  
送を行合淨藏さの祈りしは父蘇生す  
といふ夫よりものりむと云 白峯社へ  
二丁半

白峯神社

今出川小川の西有 飯月寺へ  
二丁



報恩寺

小川寺ノ内ニ有

浄土宗本尊阿弥陀ハ厨阿弥作亦當寺什物

ニ鳴虎の名画有り

瑞光院ニ三丁半

瑞光院

堀川頭ニ有

往昔淺野彈正の宅地ニ又大石良雄以下四十六士の塔有り。内藏人の像ニ辞世の詩哥書繪有り

建勲神社ニ三丁半

建勲神社

愛宕郡舟岡山ニ有

別格官

幣社衆

神織田

信長公

也

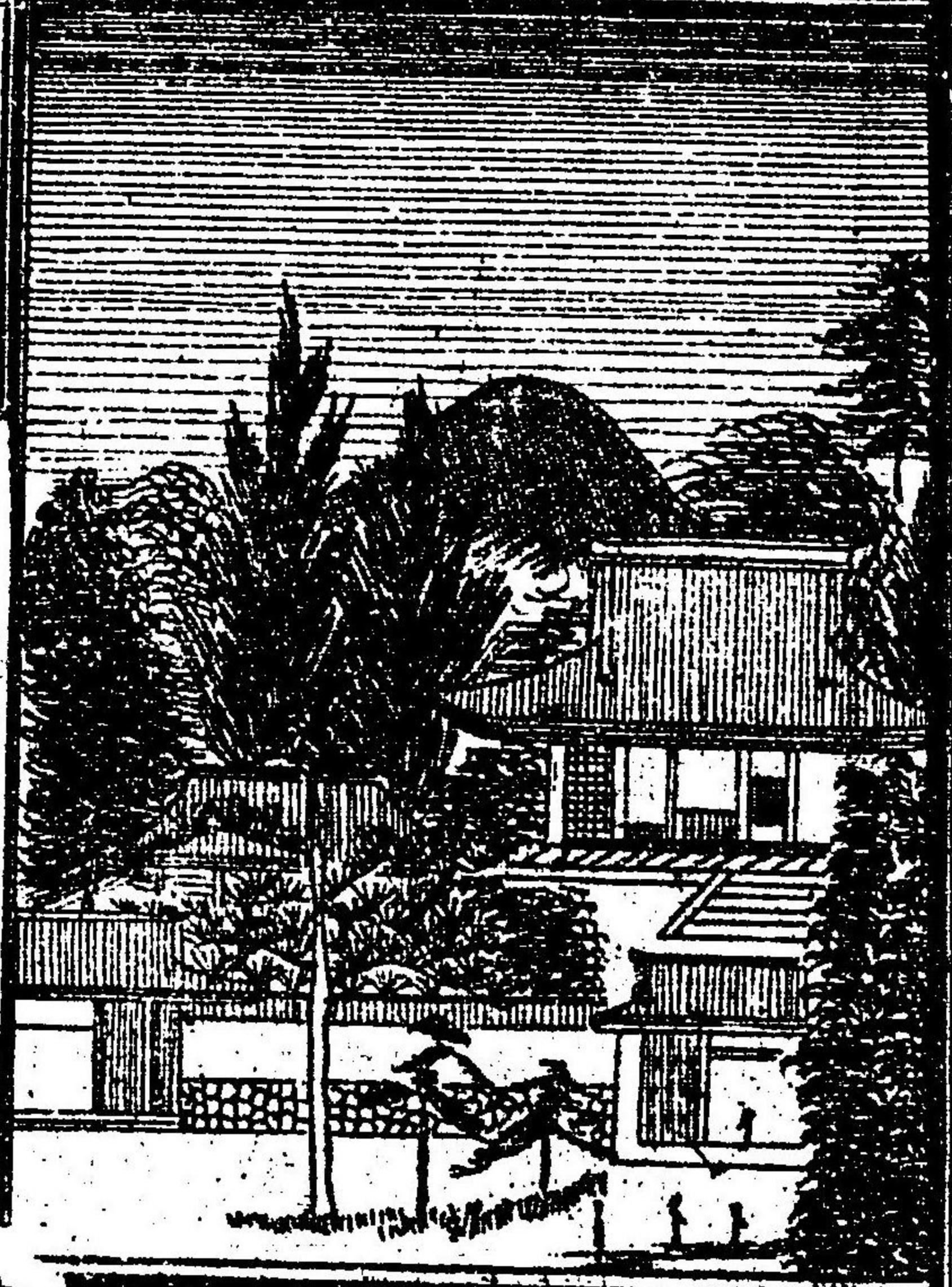
大徳寺ニ三丁

大徳寺

同茶野ニ有

今三丁

源宗大燈圓師の開基正中元年ニ于創建也



今宮社 愛宕郡茶野大門村ニ有

府社祭神ハ素戔鳴尊稲田媛の二神を祭る

正暦四年六月船岡山之祭長保二年五月

今の処ニ移に四月十五日ニ徘徊祭とて一

旨雅親のおとりあり

關魔堂

千本通野馬呂南

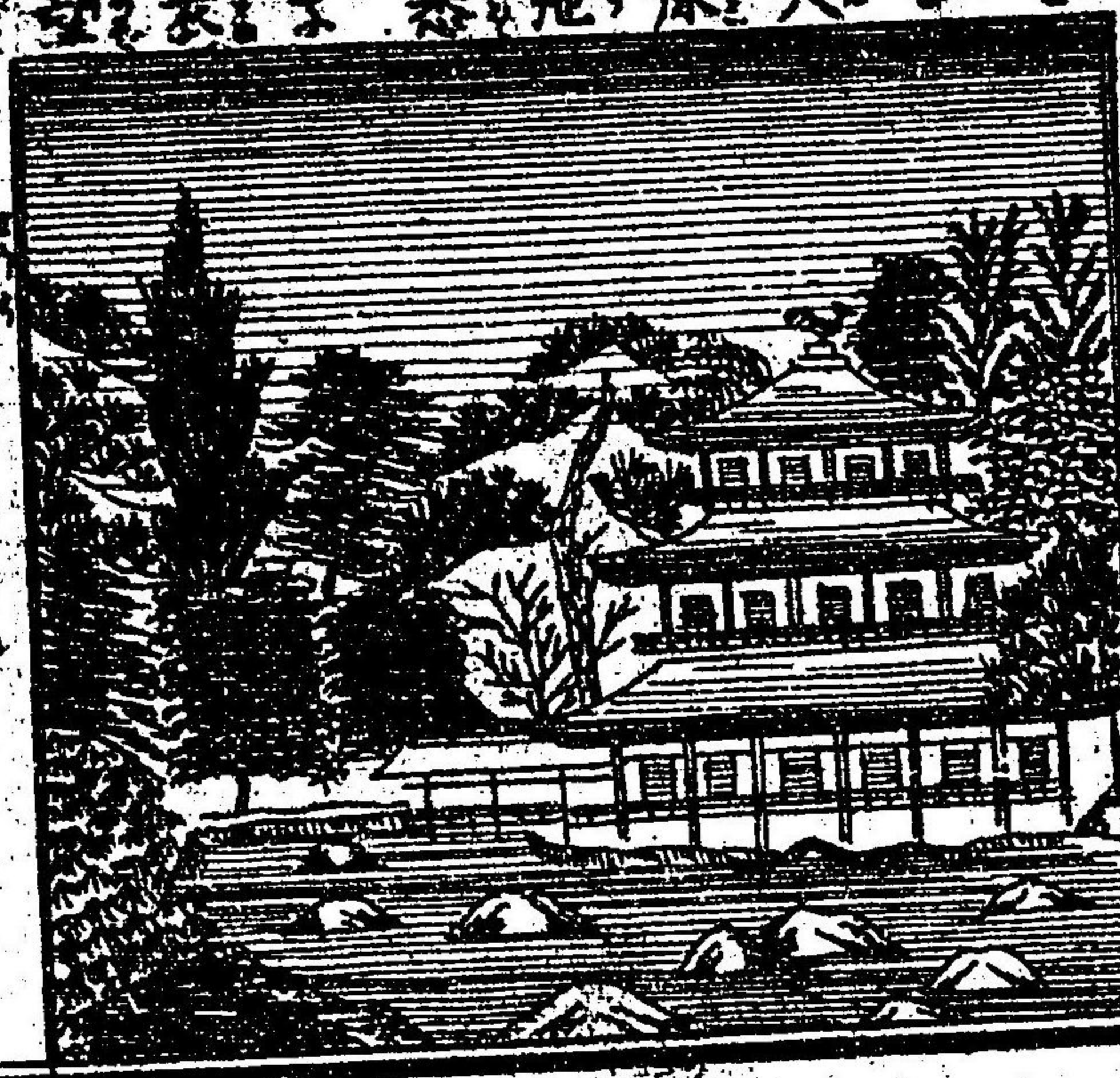
引掛寺と号に真言宗本尊ハ關魔大王文祿年中ニ如意上人六念仏狂言を始む



金閣寺

愛宕郡大北山村にあり

禪宗にして鹿苑寺とも号に僧疎石の開基  
 應永四年足利義満公造營に三重の樓閣あり  
 金泊を以て造る



補一枚天  
 井南天床  
 柱假山池  
 泉石等悉  
 有名  
 西衣  
 笠山を望  
 洛西第一の勝地あり

平野神社

高野郡小北山村にあり

官幣大社祭神今水神久度神古開神姫神を  
 祭官祭四月二日境内標樹多く世々平野の

夜櫻と云春の比ハ殊ニ雅俗の人四方より  
 集まり非常の賑ひあり

北野神社

御前通今出川にあり

官幣中社菅原道実公の靈を祭る天曆九年  
 乙卯右京七条文子神託に依て此処に社を

創建に其後三天徳三年未右大臣師造公



營に当社に加藤清正寄附の大鏡あり又豊  
 臣秀吉公の茶湯の跡あり官祭八月四日私

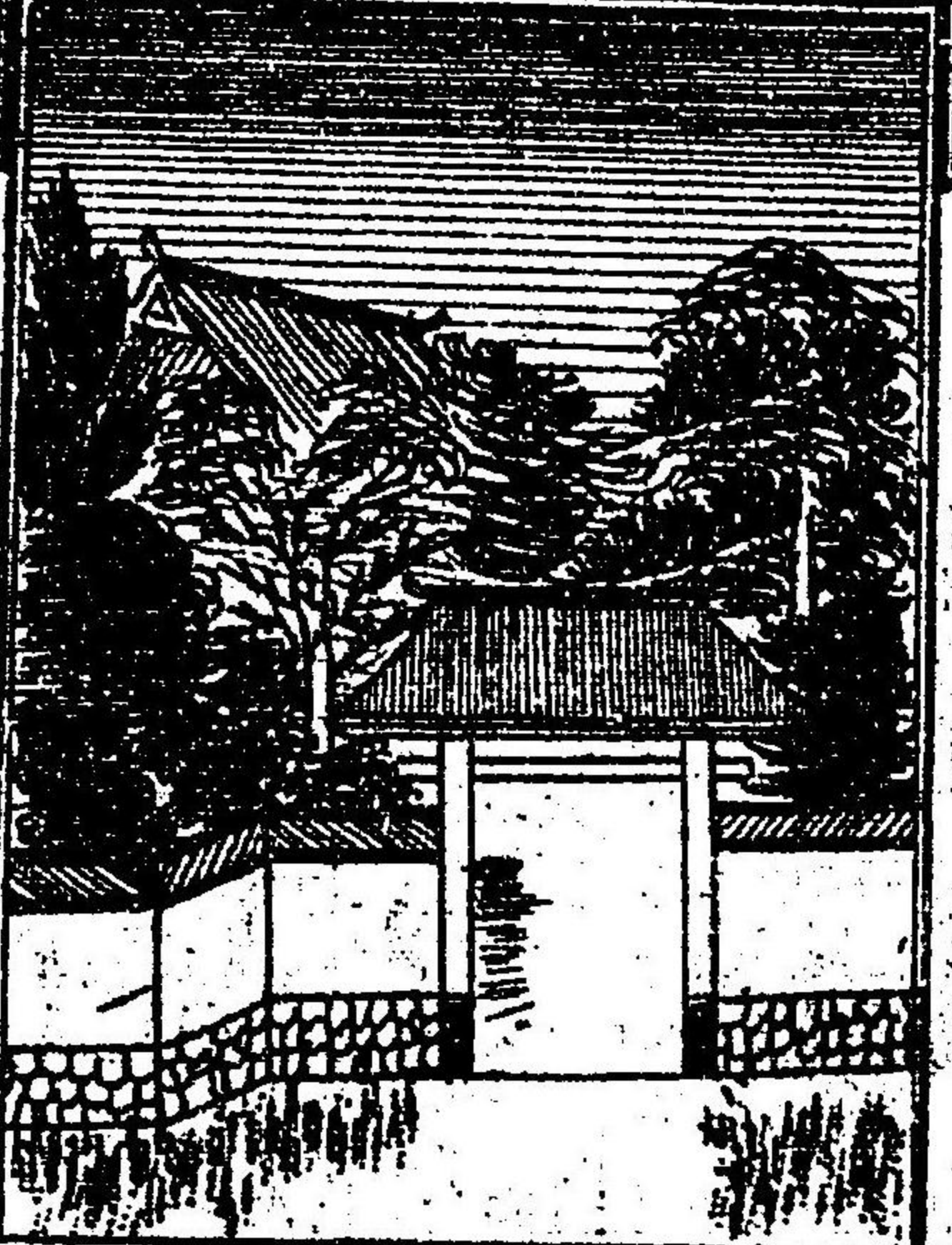


祭十月四日神幸あり境内に数千本の梅樹  
 林あり春へ花見の雅俗人群集す此後紙  
 屋川の清流ありて納涼こよひ

等持院

島野郡衣笠山の麓あり

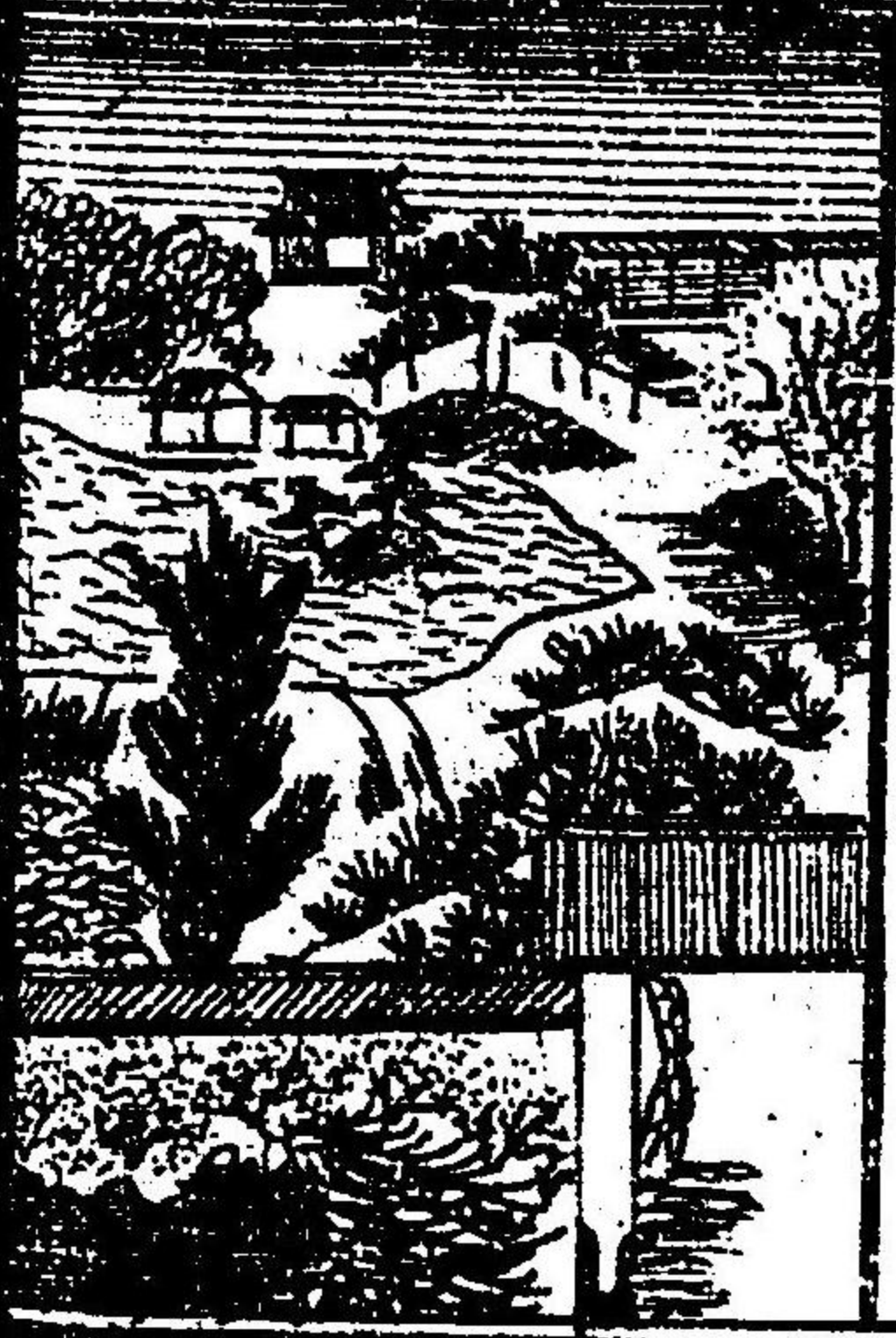
禪宗開基  
 の夢窓國  
 師足利尊  
 氏の建立  
 足利十三の  
 木像あり



龍安寺

等持院の西あり

禪宗開基ハ美  
 天和尚細川勝  
 元の建立当寺  
 の池冬ハ鷺  
 集る



妙心寺

島野郡池上村あり

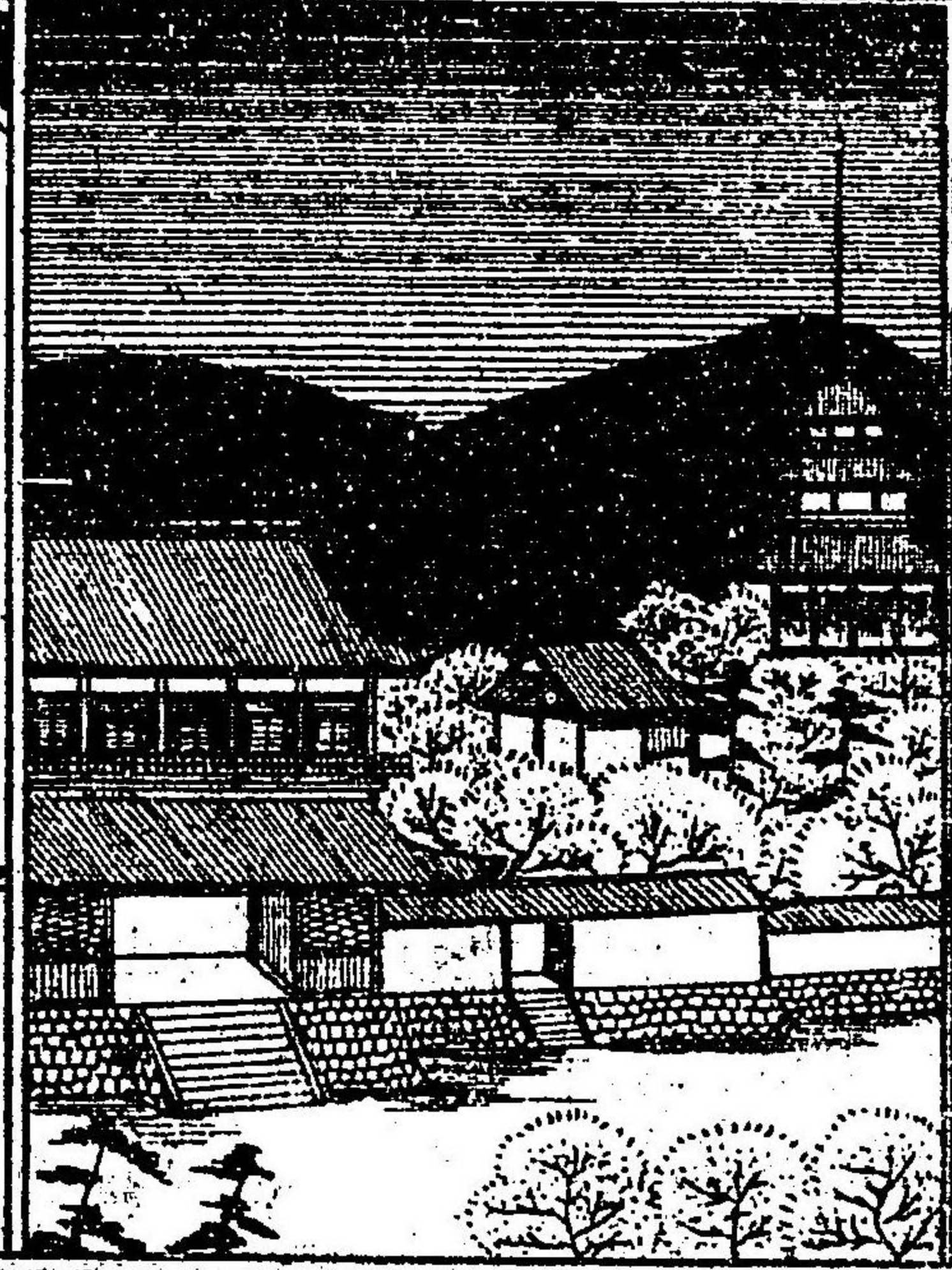
花園の  
 帝の  
 創建  
 関山  
 國師  
 の  
 基



御室

同池上村あり 廣沢  
 十丁

仁和寺  
 号す  
 けと  
 らの  
 名所  
 あり





廣沢ノ池

當所 月 水鳥の名所なりて和高秀一

釈迦堂

同上嵯峨村 愛宕山ノ下



天の 三国 傳來 の 靈 仏 あり

本尊釈迦仏ハ赤檜檀を以て天竺毘首羯尸

愛宕山

同所乾山ノ上ニ有

卿社 軒 遇突智 神伊 笑丹 尊の



祭り 雷神破元神を合祀也天應元年 月輪寺ハ 十丁

月輪寺

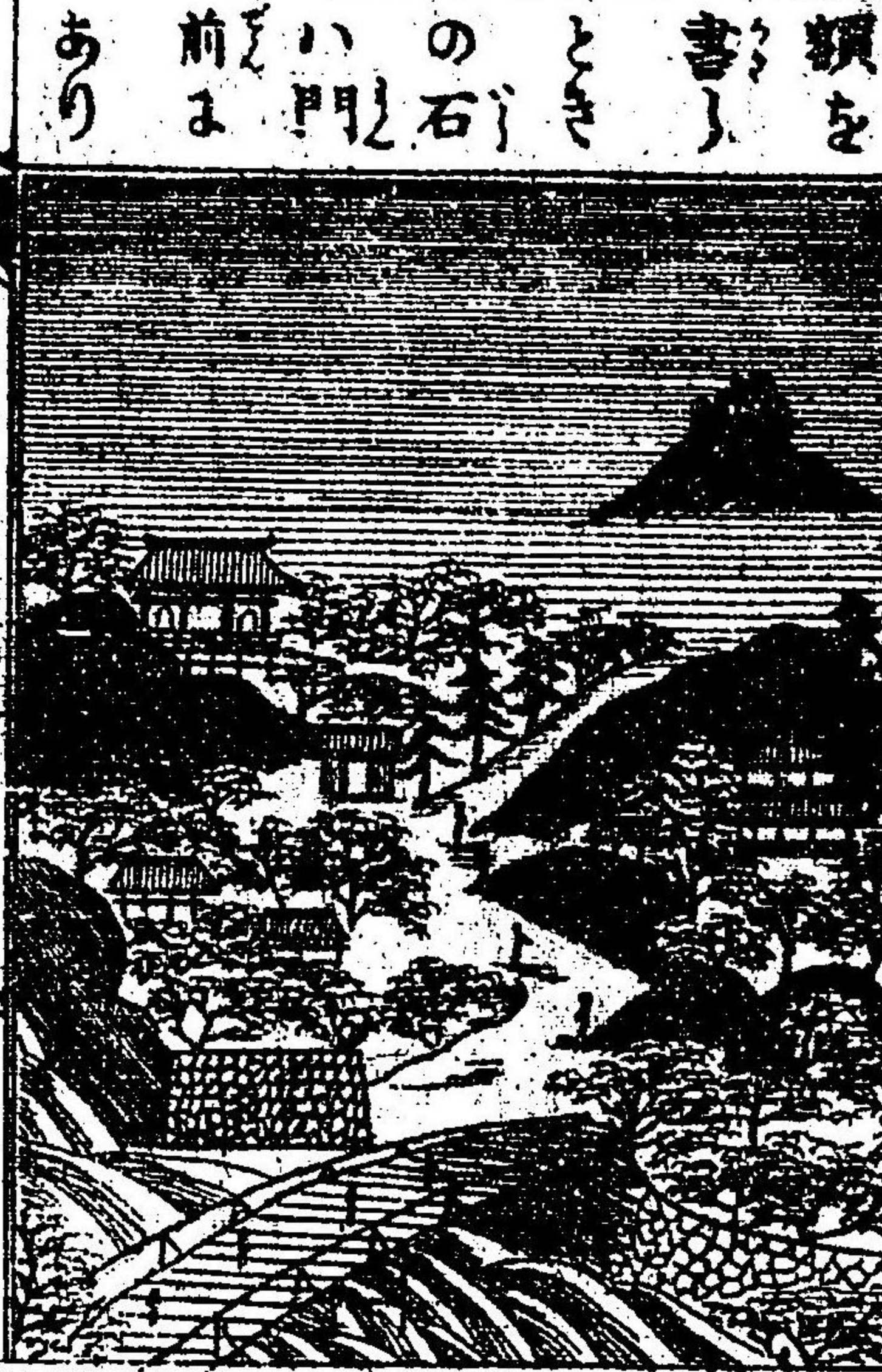
愛宕山の麓ニ有

九條関白兼実公開居の地ニ各木時雨の櫻 高松山ノ山道 三十丁 竜女水ニ有

高雄山

葛野郡中島村ニ有

真言宗ニシテ神護寺といふ延暦年中勅を 奉トテ和氣清麻呂造立す後天長元年 反 嵯峨上皇是を弘法大師ニ賜る金剛定寺の



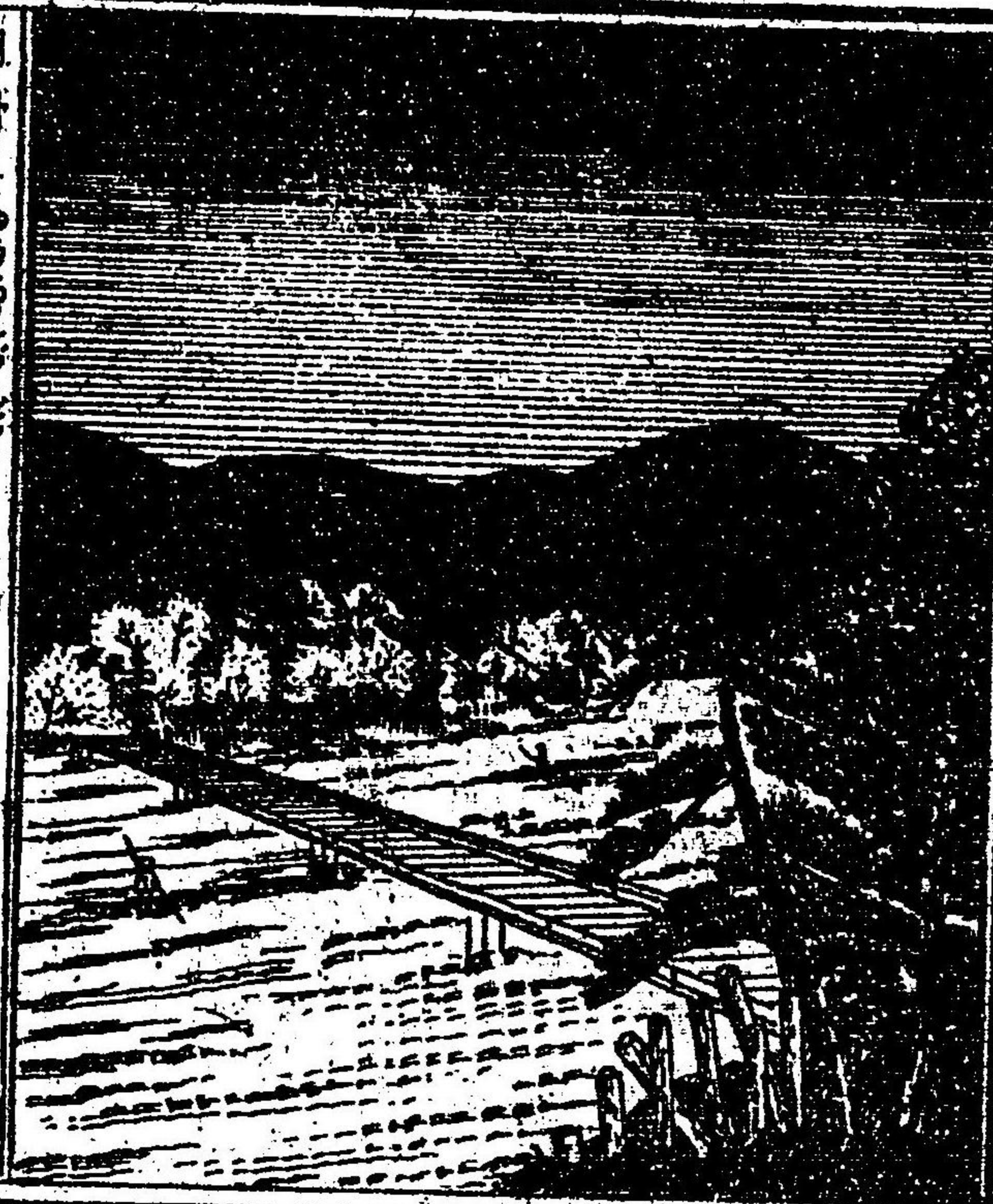
の石ノ あり 前ニ あり







八十一  
 叔覽し給ふ前は大堰川ありて丹波より舟  
 筏を下りて並み架橋を渡月橋と云又千鳥淵  
 戸灘瀬滝有大悲閣と舟倉了以の創建あり  
 此山春ハ櫻木爛漫とて避暑ハハ舟は坪  
 秋ハ紅葉を賞す雲の且みハ車カを飛して



四時の遊覧雑俗ありつまり水面山上一  
 目の楽府下第一とす 法輪寺ハ二丁

法輪寺

波月橋の南方あり

智福山と号す本尊虚空藏ハ道昌法師の作  
 天平年中の創建ハ 大泰ハ十丁

大泰

葛の郡大泰村

廣隆寺と号す 推古天皇御宇泰川勝造立  
 本尊藥師衆來太子堂聖德太子三十六支の  
 像と安置す 管所さきくの名所あり

西の部

梅の宮

葛の郡西梅津村

官幣中社酒解神大若子神小若子神酒解小  
 神と合祭  
 大兼和年  
 中建宮ハ  
 亦白紅の  
 梅林あり  
 松尾ハ十丁





松尾神社

同上山田村有

官幣大社大山咋神市杵島姫神を祭る大宝元年丑創建之世酒造家は此神へ太々神

樂を奏して商業のしんまいを祈るあり

月讀社



月讀社

同所南方有

花の寺

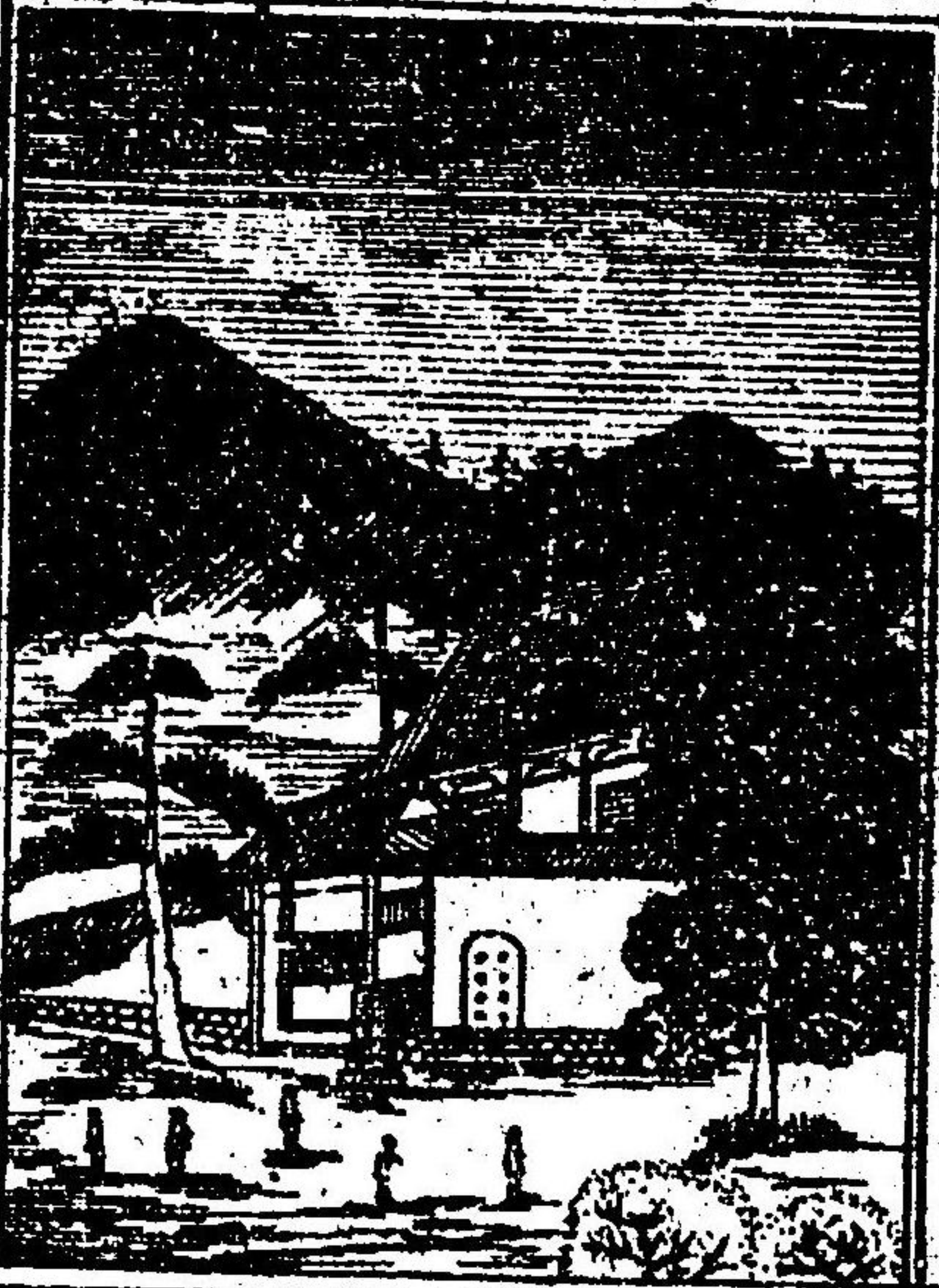
仁壽三年痘瘡大に流行して小兒多死る故神託有て免る



花の寺

乙訓郡大原野村有

小塩山勝持寺と号す中真閑山仏陀上人也本堂の類小野道風又西行の古跡まで



大原野神社

同所

西岩倉八十二丁

官幣中社武甕槌神經津主神天兒屋命姫神

を祭る

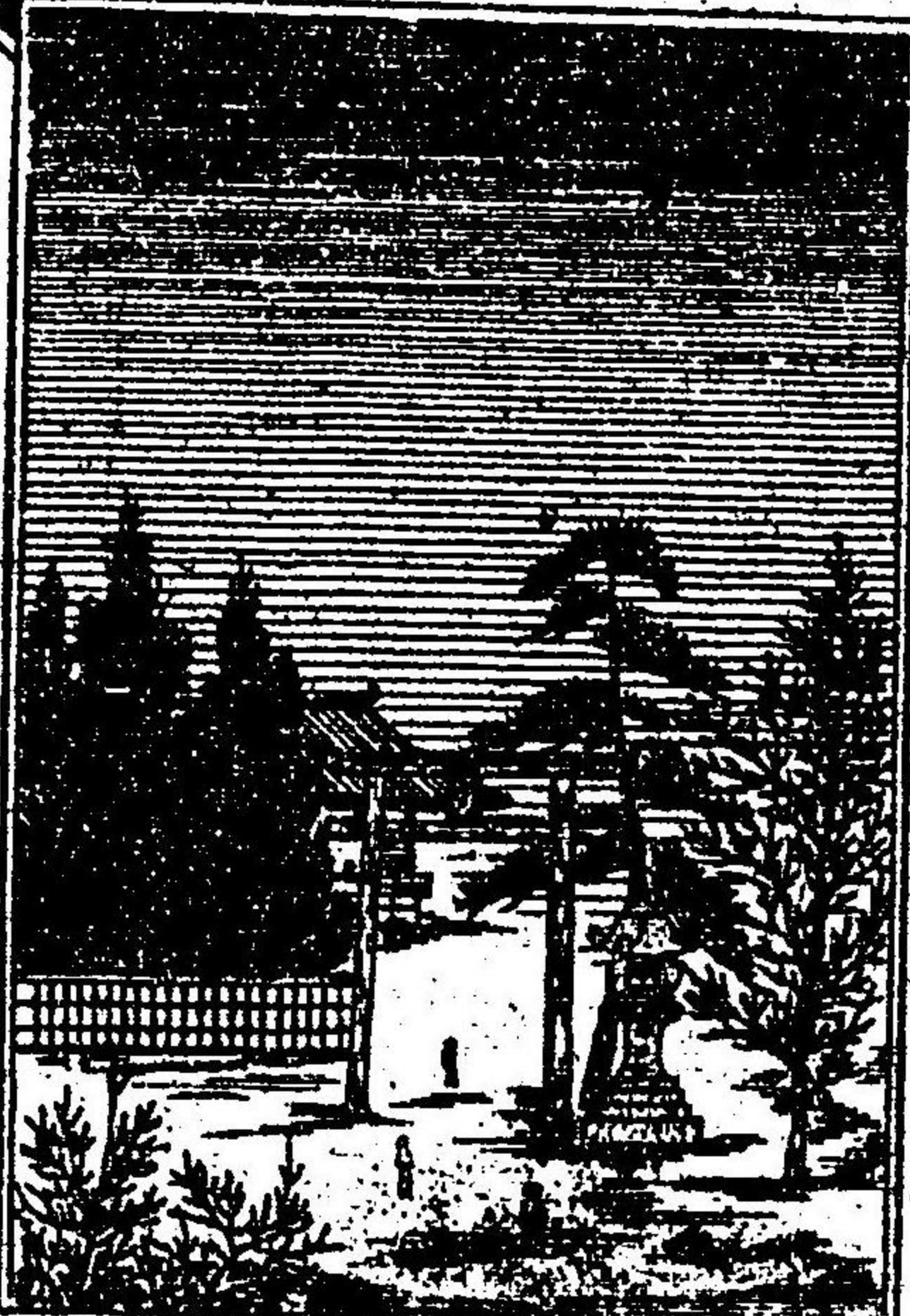
毎年二

月八日

官祭を

行る

る人





西岩倉

全郡灰谷の南に有 三結寺へ  
隆豊禪師の開基又岩倉といへる 昔王城  
の四方へ経王を収めしその一と

三結寺

同所上の方より

日本無二のまじどらり又當山の絶頂か  
といふ三  
峯の形三  
結に似た  
るの故と  
善寺へ  
十丁



善峯寺

當千手観音ハ  
寺町草堂の觀  
世音と同木の  
尊像也 西三手  
札所



光明寺

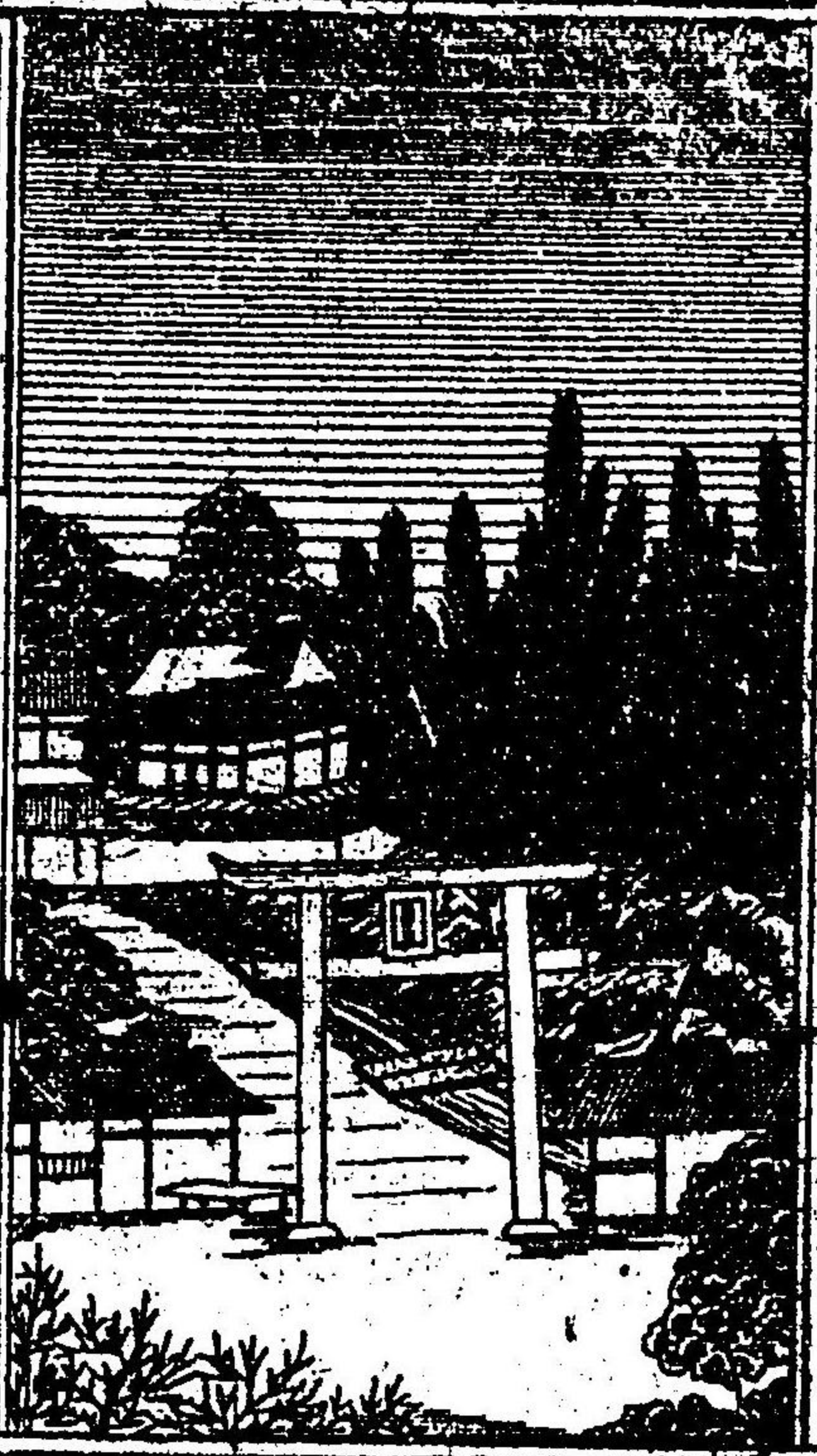
同 善寺村 有 神社へ  
十七丁

洋土東西山派一本山之大師四國へ左遷の  
際母儀の消息を以て自作する處の像を安  
置すせよとりこの尊像といふ

向日神社

同向日町 有

祭神ハ大歳神御宇向日神人當社の額ハ小  
野道風の筆なり



長岡

同岡田 有 柳谷へ  
三十二丁

菅原道實公を祀る靈元法皇の御宸翰の額  
在道実公太宰府へ移り給時自容を寫して



祐房  
と云  
者よ  
興へ  
給ふ  
処之

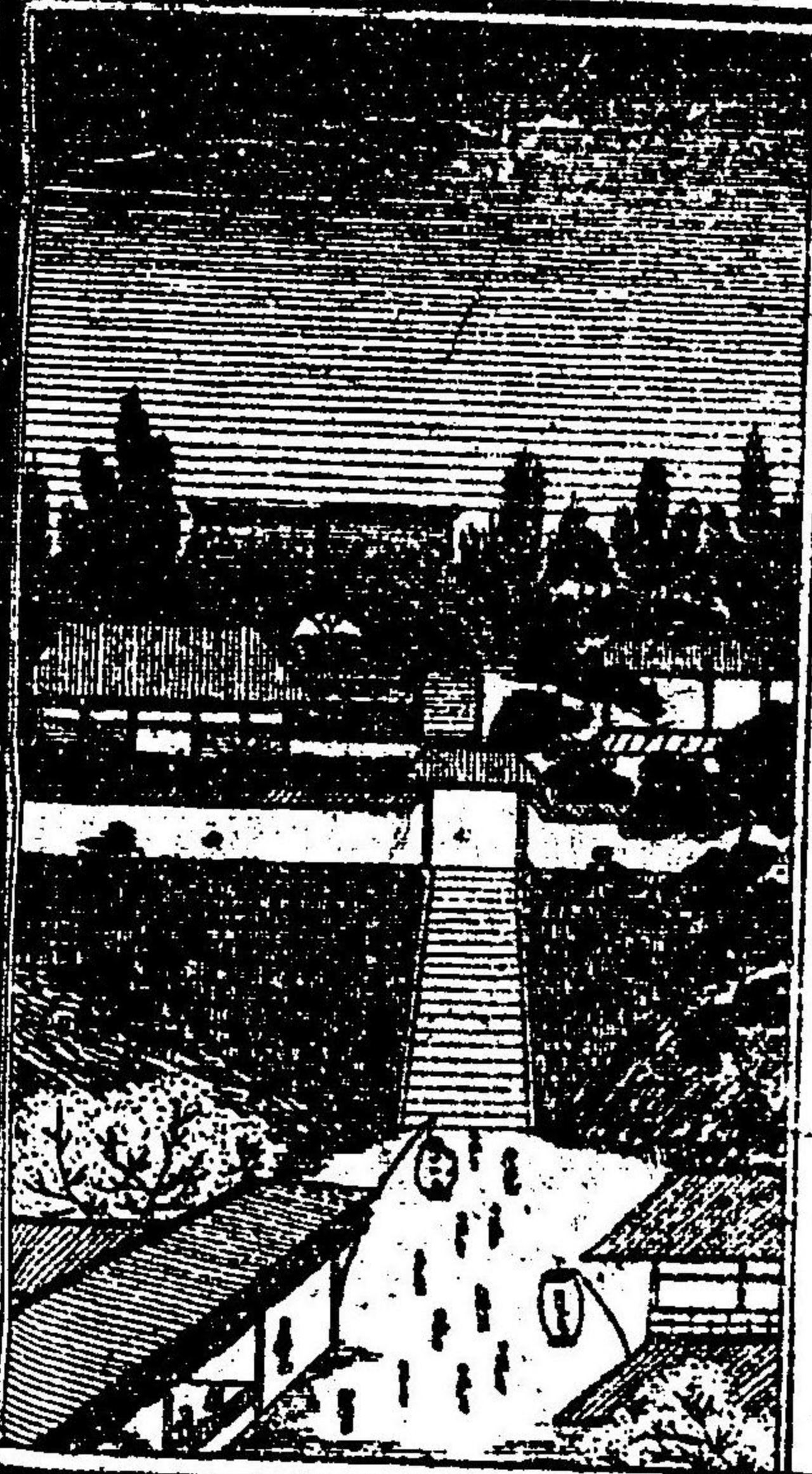


柳谷

同柳谷あり

立願山揚谷寺と号す木尊十手観音を安置す水観上人閑居の地又揚柳の瀧ハ本堂の左の方あり

天王山へ  
二十三丁



天王山

同山寺あり

素盞烏尊の御子八王子鎮座山崎一郷の産土神とす神殿深き養老二年再興と銘せり



寶寺

同所

補陀洛山宝積寺号す本尊観世音ハ行基の作也又打出の小槌ハ當寺の什器也



妙喜庵

同所

千利休此處に住してかこひを建る秀吉公旋行ありと云



離宮八まん

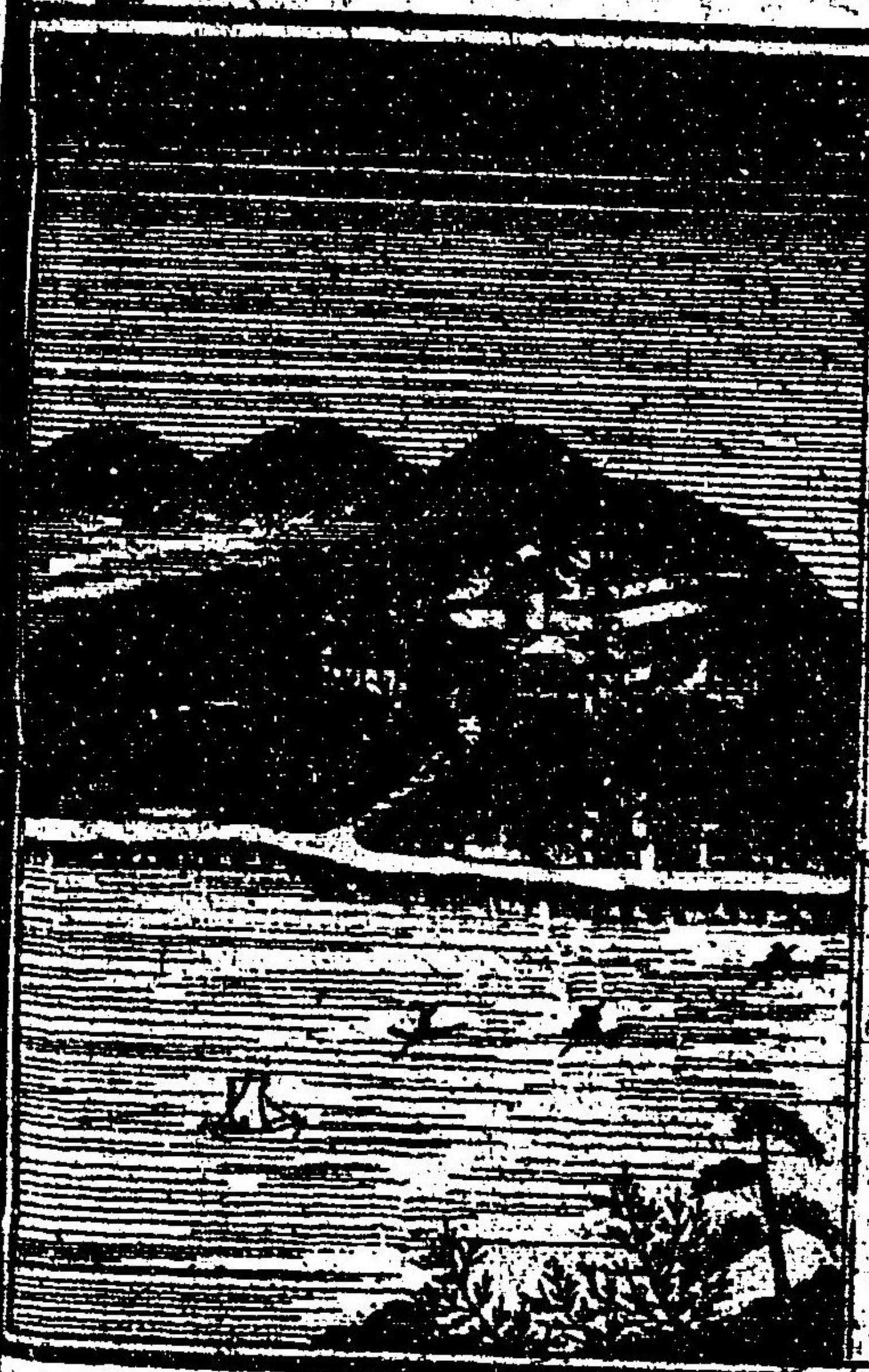
同所

貞觀元年四月十五行教宇佐に詣て帰路此  
處迄來りしに橘の木陰より清水漏出異香  
薫す行教則奏聞を経て神殿を造營すと云

男山神社

級喜郡八幡莊に在 二  
官幣大社祭神ハ三神あり清和天皇貞觀二

年六月十五日造之社殿の廻り黄金といふ  
又判官正成がくくといふ橘の大木ハ今  
猶繁茂せり昔山を植嶺と云也



城南神社

紀伊郡上島村

祭神ハ

國常立

尊あり

日本不

易皇太

神宮と



稱一方除守護神といふあり

不動ハ六丁

北向不動

同竹田村

不動明王ハ真教大師の作り。嘗院ハ往  
昔鳥羽上皇の御創建と云

安楽壽院

同所

本塔卅字の阿弥陀新塔地蔵并定朝の作



官幣社鎮座地各及官祭日

下鴨御祖神社	愛宕郡下鴨	官祭 五月十五日
上加茂別雷神社	全 上加茂村	同上
男山八幡宮	隈部郡八幡庄	六月十五日
松尾神社	葛野郡上山田村	四月三日
平野神社	全 小丸山	四月二日
稻荷神社	紀伊郡伏水街道黒門南	五月七日
吉田神社	愛宕郡吉田町	四月十八日
大原野神社	乙訓郡大原野村	二月八日
八坂神社	京都市後園町東側	六月十日
北野神社	全 御前屋今出川行宮	八月四日
貴船神社	全 愛宕郡貴船村	六月一日
白峯神社	京都市今出川小川西	九月三日
豊國神社	全 大仏正面ノ東	九月十八日
建熱神社	全 愛宕郡丹波菟	七月一日
藤王神社	京都市島九下長者町	四月四日
栗木神社	全 寺町廣小路	四月四日

明治二十六年一月十七日 印刷  
同 年月全日 出版

版 權 所 有

編輯者 富 謙一郎

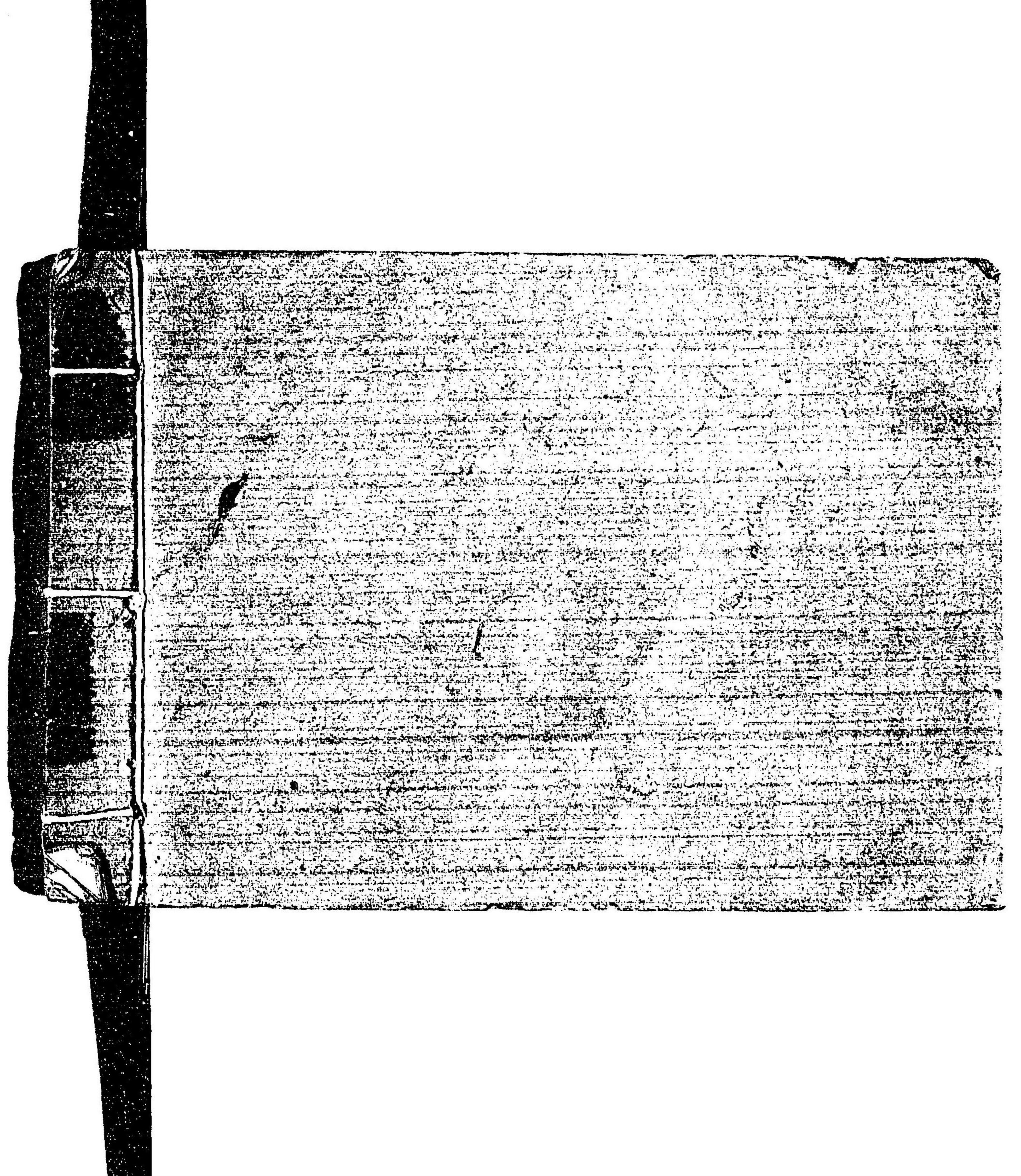
京都市下京区祇園町北側  
百五十一番戸

京都市下京区五条大橋東  
六丁目十五番戸

印刷兼 發行者 高木仙之助

定價五錢







特59  
16

022693-000-6

特59-16

帝国京図名所鑿(改正新刻)

富謙一郎/編

M26

ADB-0469

